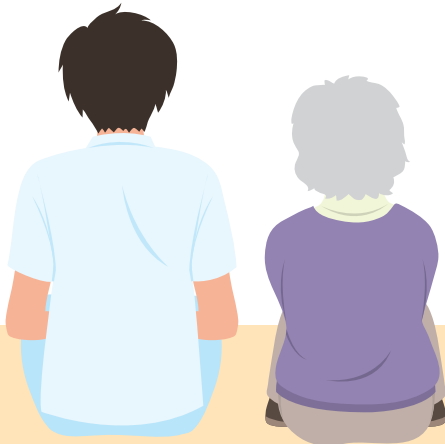


JJAOT

2024
8

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)
日本作業療法士協会誌

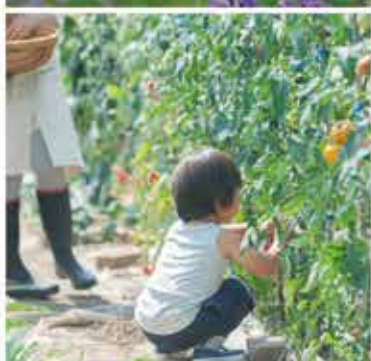


トピックス

「あらゆる会員のかがやく未来を拡げる」
一問一答 5つのメッセージ

2024年度日本作業療法士協会表彰式が挙行されました

生涯教育の各種認定・試験に関する重要なお知らせ
2024年度 専門作業療法士資格認定審査
2024年度 認定作業療法士取得「臨床実践能力試験」



8AP●TC.2024
8th Sapporo. Japan

第8回 アジア太平洋作業療法学会

The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024

互いに支えあう地域づくり —持続可能で根拠に基づいた作業療法—

会期

2024年11月6日(水)ー9日(土)

会場

札幌コンベンションセンター

学会長

Ling-Hui Chang

アジア太平洋作業療法地域グループ 会長

山本 伸一

一般社団法人 日本作業療法士協会 会長

INFORMATION

一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局



第8回 アジア太平洋作業療法学会
(APOTC2024) 運営事務局



公式ウェブサイト
(SNSもこちらから)



トピックス

- 2 「あらゆる会員のかがやく未来を拓げる」
一問一答 5 つのメッセージ
- 6 2024 年度日本作業療法士協会表彰式が挙行されました
- 7 学術誌『作業療法』紙媒体有料化に関するお知らせ
- 8 大韓作業治療師協会との協定を締結しました
- 10 生涯教育の各種認定・試験に関する重要なお知らせ
- 12 福祉用具相談支援システムと生活行為工夫情報事業
- 15 事務局からのお知らせ

連載

- 16 誰もが主演 多様な協会へ②
- 20 Front line APOTC2024 ⑱
▶ APOTC2024 開催まで残り 3 ヶ月となりました！
- 22 学会 NOTE ③
▶ 企画セミナーってどんなもの？

24 協会活動資料

- ▶ 日本作業療法士協会と大韓作業治療師協会間における交流及び協力に関する協定書 全文
- ▶ 2023 年度精神科における作業療法実態調査 結果報告

32 各部の動き

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 33 協会主催研修会案内 | 39 本誌について重要なお知らせ： |
| 36 催物・企画案内 | 第 150 号・154 号は電子書籍として |
| 37 日本作業療法士連盟だより | 発行いたします |
| 38 求人広告／訃報連絡 | 40 編集後記 |
| ／本誌第 146 号についてお詫びと訂正 | |



あなたの人生経験をこれからの作業療法に活かしながら
作業療法士として、協会の仲間として、いつまでもともに輝いてほしい

「あらゆる会員のかがやく未来を拓げる」 一問一答 5つのメッセージ

「誰もが主役・かがやきプロジェクト」チーム

昨年度、20～30代の女性会員にヒアリングを行い、多くの女性会員が結婚・出産・育児等のライフイベントで研修会に参加できず、不安や準備不足を感じていることがわかりました。本会はこれを受け、「誰もが主役・かがやきプロジェクト」を設置し、今年度は20～30代女性会員の支援に取り組むことにしました。まず、本誌を通じて、女性会員の不安や困難をみえる化し、協会全体の課題として共有することにしました。そのような不安の声に対して、「かがやく未来を拓げる」一問一答でメッセージをお返しするかたちで皆さんに共有いたします。また、今回は多くの方よりあたたかい回答メッセージをいただいたことから、誌面のデザインで優しく、あたたかなイメージを表現してみました。ぜひお気軽にお読みください！

1. 学会や研修会に参加できません

オンラインも積極的に

子どもや夫の予定、家事の調整、お金……を考えると、学会や研修会に足が遠のきがちになりますが、私は**オンラインも積極的に**利用しています。

オンラインだと**急な予定の変更**（子どもの熱発！）があっても大丈夫、**自分のペース**で勉強できる、**家族との時間も大切に**できるので満足度も高いです。オンデマンド配信の時は家事をしながら、ランチの時間等、**隙間時間も**使っています。オンラインの研修会や学会で知り合った方と**次は対面で**会いたい**など考えるのも**楽しみの一つです。

（名古屋大学 星野藍子）



本当はもっと勉強したいのに、仕事も家庭も忙しくて、時間がつくれず……なかなか参加できません。

学会も子どもと一緒に

夫婦ともに作業療法士として勤務しながら、5歳の息子の子育てをしています。出産後、学会には足が遠のいてしまいましたが、今は**子連れで学会参加**をしています。託児室を用意してくださる学会や、「子連れ歓迎」を謳ってくださる学会も増え、**子連れでも参加しやすい雰囲気**です。

何より運営の方々・周りの参加者の方々があたたかく見守ってくださり、とても有り難く、嬉しく思っています。

（楠メンタルホスピタル 吉原絵理）



教育部より

日本作業療法士協会は、会員の皆様が**スキルアップ、キャリアアップ**できる**充実した教材**を準備していきます。

具体的には、2025年度から**生涯学習制度**がスタートします。この制度では**オンデマンドによる70コンテンツ**がすべて**無料**で視聴できます。今後は、産休中や育休中でも学びを継続できるシステムをより強化し、作業療法士免許を有する皆様が**いつまでも輝き続けられる未来**をしっかりと**サポート**して参ります。対象者の方々に**選ばれる作業療法士**と一緒に目指しましょう。

（教育担当常務理事 早坂友成）



妻が研修や学会で**研鑽する姿勢**が刺激になり、自分の学びにもつながります！**日程調整等はお互いに協力**合っています。

（名古屋市総合リハビリテーションセンター 吉原理美）

ライブイベントの最中
にある世代向けの
情報はどこに記載され
ているのでしょうか？



LINE登録は
ココから！



日本作業療法士協会
公式LINE

2. 情報がどこにあるかわかりません

制作広報室より

会員の皆様には、月1回の協会誌（紙媒体・協会ホームページへの掲載）、会員ポータルサイト、ホームページでの会員向けのページに加えて、Facebook、X（旧Twitter）、LINE等のSNSでも随時発信しております。特にLINEは定期的にコンパクトに情報をまとめて発信しております。LINEは左記のQRコードよりご登録いただけます。新卒者や産休・育休中の方向け等、随時発信していますが、それぞれの状況の方々に合わせた情報をまとめて発信していくことも今後検討して参ります。

（広報担当常務理事 関本充史）



3. この先のキャリアがみえません

教育部より

eラーニングコンテンツは、隙間時間を活用して視聴が可能です。現在、専門作業療法士取得研修を中心に複数のコンテンツを配信しています。また、無料コンテンツの「子育て・介護を担う女性作業療法士の働き方～子育てしながらイキイキと働くために～」では、ライブイベントと仕事の両立について、ママOTの声を聞くことができます。ぜひご覧ください。

（教育部員 長谷麻由）



がんばりたいけど、ライブイベントがあるなかでどんな風に働けるのだろうか？身近にモデルになるような人もいないので、続けていくのが不安です。



誰もが主役！

キャリアにはいろいろなカタチがあって大丈夫なのです。クライアントとのかわりのなかで自分が好きだなと思えることを積み重ねていくと、いつの間にか自分らしいキャリア（作業療法）になっていきます。また、協会の研修会や学会でいろいろな人の話を聞いたりするのも良いかもです。「誰もが主役 多様な協会へ」（p.16～19）にもさまざまな作業療法士の働き方を連載予定ですので、ぜひ参考にしてみてくださいね。

（「誰もが主役 多様な協会へ」担当理事 高橋香代子）



仲間探しを

家庭とのバランスを保つために、育児時短勤務期間終了後からパートに切り替えて回復期で働き続けています。仕事、主婦として母として毎日忙しいですが、そのなかでも自分のキャリアを大切にしたいという想いは強く、院内外で仲間と一緒に日々奮闘しています。身近にモデルとなる人がいない時は学会やSNS等、一步外の世界を覗いてみるのはいかがでしょうか？そこに大切な出会いやつながりがあるかもしれません。やっぱり、独りでがんばり続けるのは大変です。

ともにごんばっていきましょう！

（偕行会リハビリテーション病院
川口悠子）



4. 子育て中のブランクが心配です

長期間休んでいたの、
作業療法士としてやって
いけるか不安がいっぱい
です…



教育部より

生活をみる作業療法士だからこそ、
**ライフイベントに向き合っている時間そのものが
作業療法士としての視点を広げることにつながり、**
これからの支援の幅、そしてキャリアに活かされると
思います。

しかし、育児等で現場から離れる期間があると**不安
な気持ちになるのは当然**です。その不安を少しでも
軽減できるよう、私たちはどのような研修体制が求
められているのか会員の皆様の声に
耳を傾け、**全力でサポート**いたします。
(教育部長 竹中佐江子)



育休**経験**が糧に！

「作業療法士としての私は、誰かに代わってもらえる。
でも、**母としての私の代わりはない**」

私は現在21歳、16歳、11歳の3人の子供がいます。
母としての自分と作業療法士としての自分、やりたい
こととやれること、**限られた時間のなかで、たくさん
のジレンマや葛藤**がありました。

子どもたちの成長とともに、そのバランスが少しずつ
変わってきた今、地域というフィールドにおいて、
これらの経験が、「**その人の生き方**」に**スパイスを
加える作業療法士としての仕事の糧**になっています。
人を大切にする作業療法士として、**この経験は、と
ても貴重**だったと実感しています。

(障がい相談支援センターまるおか
吉岡恵美)



5. がんばることに疲れちゃいました

知っていますか？ **休**会制度

総務部より

スランプに陥った時等は、思い切って
士会や協会の集まりに顔を出してみては
いかがでしょうか。

同じ悩みを抱えている人と出会えたり、新たな発見や明日への
励ましが得られるかもしれません。たとえ**いったん休職**すると
か、**職場を変える**ことになったとしても**士会や協会は作業療法
士同士のつながりを保つ命綱**になります。退会してしまうので
はなく、「**休会**」という**選択肢**があることも覚えておいてくだ
さいね。
(総務部長 宮井恵次)



いろいろな理由で作業
療法士として**がんばり続
けることに少し疲**れてい
ます。このままやってい
けるか**不安**です。作業療
法士を**辞める**ことも考
えてしまいます。

休会制度や研修会の
詳しい情報は**ココ**から！



休会制度



研修会

始まります！ 女性会員編

かがやきプロジェクト

プロジェクトより皆さんにメッセージ

ご覧になった方のなかには、「若手女性だけのためのプロジェクトなのかな?」「女性だけが取り上げられることにちょっと抵抗があるなあ」と思われた方もきっといらっしゃると思います。

今年度は会員のなかでも特に若手（20-30代）の女性にフォーカスを当てていますが、このなかで取り扱われることは**その枠に留まらず、さまざまな方に当てはまる**と考えています。実際にプロジェクトでは、アンケートやヒアリングを通して、**さまざまな世代、性別の方に共通する悩みをこの世代の女性がもっていることを把握**しました。どうか「若手女性だけ特別扱いね」と思わずに、**ぜひご興味・ご関心をお寄せください**。

一方で、**この世代の女性が特有に抱える苦しさや大変さがあることもまた事実**です。私たちは、彼女たちを応援することを通して、**会員の皆様がそれぞれを理解し合い、一緒に作業療法を発展させるための土壌**をつくっていきたいと思っています。それらが働きやすく、学びやすく、対象者へより良い作業療法を届けることにつながると信じ、プロジェクトを進めて参ります。

さらに、このプロジェクトは**その世代の女性の周りで応援してくれている方、彼女たちと悩みを共有し、ともに戦っている方を支えるプロジェクト**でもあります。もしかすると、当事者である若手女性のなかには本誌を手取る暇もなく日常生活に追われている方もいるかもしれません。そんな時は、可能であれば**本誌を共有、紹介いただき、一緒に活用**していただけたらこんなにうれしいことはありません。

（プロジェクトメンバー一同）

今月の協会誌をご覧になり、各Q & Aに対する皆さまの答えやご不安等ございましたら、ぜひ右記QRコードよりぜひご意見をお寄せください！
（2024年9月末まで）



今後の予定

- **制度や研修の調整**：さまざまな制度や研修等の利便性を高めるための働きかけや調整
- **イベント開催**：会員同士のつながりを高めるイベントの開催

本プロジェクトの位置づけ

事務局総務部

「誰もが主役 多様な協会へ」推進チーム
かがやきプロジェクト 女性会員編



本プロジェクトは「誰もが主役 多様な協会へ」を目指し、会員のさまざまな活動や動きを応援し推進することを具体的に取り組むものです。

私たちが
プロジェクトメンバーです





2024年度日本作業療法士協会表彰式が 挙行されました

総務部

去る5月25日、2024年度日本作業療法士協会表彰式が挙行されました。今年度の受賞者は、名誉会員表彰1名、会長表彰1名、特別表彰2名でした。

名誉会員表彰を受けたのは片岡愛子氏（会員番号474）です。片岡氏は1977年に本会に入会し、正会員歴は47年。協会活動歴は約20年に及び、そのうち約18年にわたって役員（理事）を務めながら、身体障害作業療法委員会、広報部、学会評議委員会の委員・部員等としても活動し、本会に多大なる貢献を果たされました。また、1983年から1996年まで高知県作業療法士会の会長、1996年から2000年までは同士の理事も歴任して、地方組織の発展にも大きく寄与されました。

会長表彰の受賞者は中村春基氏（会員番号548）。中村氏は1978年に入会、正会員として45年以上在籍され、本会の第5代会長を14年間にわたって務められたほか、副会長8年、常務理事12年、理事4年を歴任、その他多くの部や委員会で重責を担われ、本会の発展と振興に多大なる貢献をされました。

また、今年度、特別表彰の対象となったのは長倉寿子氏（会員番号1006）と村田和香氏（会員番号1403）の2名。長倉氏は、他団体に対して作業療法の普及啓発に尽力されたほか、制度化された当初から老人保健施設に勤務されて、老健施設や通所リハにおける作業療法に指導的な役割を果たされました。厚生労働省においては、福祉用具・住宅改修指導官として、介護保険における福祉用具・住宅改修に関する施策に取り組みされました。村田氏は、特に学術・教育の面から高齢期分野の作業療法の発展と質の向上に著しく寄与されました。ご自身として数々の学術的業績を残されているほか、本会の学術事業にも多面にわたって献身的に従事され、多くの後進を育てられてきました。

表彰式では、山本伸一会長より名誉会員表彰、会長表彰、特別表彰の順に表彰状と記念品が授与され、引き続き4人の受賞者からひとことずつお言葉を頂戴しました。

片岡氏「昨年逝去された鎌倉矩子先生が理事を退任されるときに残された言葉でもあるが、ぜひ皆様も先輩方に学んで、「気品のある作業療法士協会の継続を」お願いしたい。」

中村氏「今回の受賞は、昨年からは現場に戻った自分に対する『もっとがんばれ』という励ましの意味に受け取った。これからも皆様と一緒に歩み、さまざまな課題に取り組んでいきたい。」

長倉氏「今はまた現場に戻って、皆さんと一緒に楽しく働いている毎日。これからは新しい自分の役割を考えながら、作業療法の発展の一つでも寄与できればと思っている。」

村田氏「札幌の小さな病院から出発し、多くの高齢者の方々に育てられてきた。この方々のこれからを考える作業療法の知恵と知識を、引き続き教育のなかに取り込んでいきたい。」

最後に、記念撮影を行って表彰式を終了しました。



片岡愛子氏



中村春基氏



長倉寿子氏



村田和香氏



学術誌『作業療法』第 44 巻 1 号～ 6 号 (2025 年 2 月～ 12 月発行) 紙媒体の有料配付希望受付について

日本作業療法士協会事務局

2025 年発行の学術誌『作業療法』第 44 巻の紙媒体の配布希望申し込みを受け付けています。例年と申し込み期間が異なります。また、購読料（会員価格）の納入が必要です。ご注意ください。

学術誌『作業療法』は、以下の方法により、電子媒体を無料でご覧いただけます。

- ① J-STAGE での個別記事閲覧
- ② 会員限定：「学術データベース」での個別記事閲覧（37 巻以前も参照可能）
- ③ 会員限定：会員ポータルサイト「ライブラリ管理」で公開されている URL より、冊子体データの閲覧（43 巻 1 号より）

既にお知らせしたとおり、第 44 巻より紙媒体は有料（会員価格）での配付となります。年間予約購読料は会員価格：4,000 円（ただし 45 巻以降、変動の可能性があります）です。

希望される会員はまず下記 URL より必要事項を入力して、締め切り日までにお申し込みください。締め切り後に入金のための払込取扱票を発送しますので、用紙に記載の期日までに納入ください。期間外のお申し込みは受け付けられませんのでご注意ください。

紙媒体（有料）希望受付期間：2024 年 7 月 1 日（月）～ 8 月 31 日（土）

URL : <https://forms.gle/rox6X3xuM6QYQVjdA>

下記の QR コードからも申し込みページへアクセスできます。



※お申し込みをされますと自動返信メールが配信されますので、そのメールは大切に保管しておいてください。

※現在紙媒体での配付を受けている会員の皆様も、第 44 巻の会員価格での購読を希望する場合には、あらためてこの申し込みの手続きが必要となります。自動継続とはなりませんのでご注意ください。

※永年会員も会員価格での購読が可能です。ご希望の場合は上記の方法でお申し込みください。



大韓作業治療師協会との協定を締結しました

国際部

協定締結の経緯と協定調印式

大韓作業治療師協会（KAOT: Korea Association of Occupational Therapists）とは、これまで日本作業療法学会の会期前や会期中に開催したアジア作業療法協会交流会や日本 - 台湾作業療法ジョイントシンポジウム等で交流を重ねてきました。2023年11月の第57回学会（沖縄）、2024年3月のWFOT代表者会議（バミューダ）に参加されたJi-Eun Lee会長およびAlly JiHyun Kim副会長より、日本と韓国の交流および協力に関する協定書（覚書）」の締結について強い要望をいただきました。

そして、両協会が協議を重ね、両協会員がメリットを感じられるような協定内容にすべく、両協会が協会員に対する臨床見学の機会を提供することで合意を得ました。両協会が協定書および調印式の準備が進められ、そしてこの度、6月20日に韓国釜山市で調印式が執り行われました。本会から山本伸一会長、大庭潤平副会長（WFOT代表）、高橋香代子理事（国際部長、WFOT第一代理）と事務局が出席し、両協会長が署名したことで、KAOTとの交流および交流に関する協定が実現しました（協定書はp.24～25に掲載）。

Lee会長からは「KAOTもJAOTも新会長が就任したこともあり、ぜひお会いしたいと思っていました。本日協定

を結びましたが、両協会の具体的な交流はこれからです。ぜひ活発な交流をしていきましょう。11月にまたお会いできることを楽しみにしています」と、山本会長からは「作業療法士は素晴らしい職業です。乳幼児から高齢期まで、介護予防、回復期等すべてのステージで活躍でき、作業療法を通して人々の健康と幸福に関与できます。日本と韓国、お互いの国にそれぞれの良さがあります。両協会が相互の情報交換を通して、作業療法の多様な可能性を探っていきましょう」と互いにメッセージを送りました。

日本からは富士山と桜をあしらった七宝焼き飾皿を、韓国からは伝統文様を施したグラス・ソーサーを記念品として交換しました。今後は両協会の会員間の交流を促進していくため、検討を重ねていきます。

第8回アジア太平洋作業療法学会（APOTC2024）で再会を約束

今回の交流会では、今年11月開催のAPOTC2024の広報活動も行ってきました。APOTC2024にはKAOT役員に加え、韓国からも多くの作業療法士にお越しいただきます。本会の皆さまはこの機会にぜひ韓国の作業療法士の方々との交流を深めてください。



協定式の記念写真（前列中央左が Ji-Eun Lee 会長、右が山本伸一会長）



握手を交わす両協会長

韓国での施設見学

韓国での施設見学を希望される方は、国際部 (dep. international@jaot.or.jp) へお問い合わせください。本会ではKAOTと協力して、韓国で見学・視察等を行える教育機関・施設の情報提供をいたします (渡航費・海外旅行傷害保険・通訳費等はご自身でご手配ください)。

本誌第148号(2024年7月15日発行)で「2025年度海外研修助成制度」の募集要項を掲載していますので、施設見学をご希望の方はぜひそちらへの申請もご検討ください。日本の施設での韓国の作業療法士の見学受入れも行う予定ですので、会員の皆様はご協力のほど、よろしくお願いいたします。

第6回アジア慢性期医療学会への出席

6月20日と21日に開催された第6回アジア慢性期医療学会に山本会長が招待され、日本理学療法士協会の斉藤秀之会長とともに出席しました。本学会では、KAOT・韓国理学療法士協会の両会長も参加し、会食等で国・職種を超えた交流をもちました。

また本学会には、日本リハビリテーション病院・施設協会名誉会長である浜村明德氏が特別講演として登

壇されました。浜村氏は、日本における地域リハビリテーションの第一人者で、日本における地域リハビリテーションの発展の歴史を紹介されました。加えて、本会一行は、Deokjin Kim 学会長が運営する回復期リハビリテーション病院等の施設見学もさせていただきました。

学会には日本人約150名を含む約700名が参加し、日本、韓国、中国を中心に盛会な学会となりました。



第6回アジア慢性期医療学会 開会式の模様



生涯教育の各種認定・試験に関する重要なお知らせ

教育関連審査会

2024年度の専門作業療法士資格認定審査、認定作業療法士取得臨床実践能力試験をそれぞれ次の要領にて実施します。該当する会員の方は、準備ならびに必要な手続きをお願いいたします。詳細は協会ホームページ（会員向け情報＞教育関連＞協会認定資格試験・審査会情報＞7. 試験について）をご参照ください。

2024年度 専門作業療法士資格認定審査

申請資格
<p>各分野の取得要件 2（手引参照） および以下の取得要件を満たしていること。または読み替え要件および以下の取得要件を満たしていること。</p> <p>①作業療法士免許を有すること。 ②当該年度の年会費を納めていること。 ③申請時および試験時ともに認定作業療法士であること。</p>
申請の流れ
<p>1. 協会ホームページより、「2024年度専門作業療法士資格認定審査申請書」をダウンロードし、必要事項を記入する。また、写真を貼付する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2. 添付書類等を準備する。 【添付書類】 各分野の手引きにある申請に必要な書類を用意する。 ①作業療法士免許証の写し、②当該年度の Web 会員証（日本作業療法士協会）の写し、③認定作業療法士認定証の写し（有効期限をご確認下さい）、④専門作業療法士研修受講履歴（会員ポータルサイトから印刷してください。なお、読み替え申請者は不要）、⑤所属士会の会員歴証明書、⑥分野別申請書類一式、⑦読み替え申請書、⑧審査料（5,000 円）の振込済み証明書の写し、⑨申請者の返信先明記済の 110 円切手を貼付した返信用封筒（長形 3 号）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>3. 2024年9月1日（日）～10月31日（木）（当日消印有効） までの期間に、上記申請に添付書類等をそえて、協会事務局へ郵送する（レターパックプラス 520 を推奨）。</p>
専門作業療法士取得試験資格者の決定について
<p>1. 教育審査会にて、11月中旬に申請に必要な書類の確認をいたします。 ※申請書類の内容で確認が必要な場合は個別にご連絡をし、指定する期日までに書類の再提出をお願いすることがあります。</p> <p>2. 専門作業療法士資格取得試験の資格を満たす該当者には、1月中旬に受験票を発行します。</p>
試験審査概要
<p>1) 日 時：2025年2月8日（土） 11：00～13：00（10：00 開場、10：50 オリエンテーション） 2) 会 場：東京文具共和会館（予定。変更になることがあります） 3) 審査料：5,000 円（申請時に振り込み【振り込み先】郵便振替口座：00120-7-146118 生涯教育講座） 4) 方 法：筆記試験（四肢択一）120 分 5) 当日持参するもの：受験票、時計、筆記用具 （※運転免許証等、本人を確認できるものを持参ください。確認する場合があります）</p>

ご注意！ 専門作業療法士読み替えによる取得の申請に関して

専門作業療法士読み替え要件を満たす会員の方は、必ず申請いただきますようお願いいたします。詳細は、協会ホームページの専門作業療法士取得の手引きをご確認ください。

参考：読み替え期間

- ① 就労支援 2024年度まで（今年度が最終年度です）
- ② 脳血管障害 2026年度まで

2024 年度 認定作業療法士取得「臨床実践能力試験」

受験要件
以下の取得要件を満たしていること。 ①認定作業療法士取得共通研修ならびに選択研修が修了していること。 ②申請時および試験時ともに基礎研修修了有効期限内にあること。 ③当該年度の年会費を納めていること。
申請の流れ
1. 協会ホームページより「2024 年度 認定作業療法士取得 臨床実践能力試験 申請書」をダウンロードする。必要事項を記入し、写真を貼付する。 ↓ 2. 添付書類等を準備する。 【添付書類】 ①電子会員証（日本作業療法士協会）の印刷（振り込みの郵便局等金融機関の領収証の写しでも可） ②上記受験要件①②が確認できる部分を会員ポータルサイトから印刷（詳細は協会ホームページに掲載します）。 ③申請者の返信先明記済の 110 円切手を貼付した返信用封筒（長形 3 号） ↓ 3. 2024 年 11 月 1 日（金）～ 12 月 10 日（火）（当日消印有効） までの期間に、上記申請書に添付書類等をそえて、協会事務局へ郵送する。 ↓ 4. 受験票の発送 ↓ 5. 受験料の振り込み（郵便振替口座 00120-7-146118 生涯教育講座） ※期日までに入金してください。遅れた場合には受験資格を失います。
試験概要
1) 日 時：2025 年 2 月 9 日（日） 11：00～13：00（10：00 開場） 2) 会 場：東京文具共和会館（予定。変更になることがあります） 3) 審査料：5,000 円（申請時に振り込み。上記を参照してください） 4) 定 員：50 名（希望者多数の場合は抽選にて決定） 5) 方 法：筆記試験（四肢択一／四肢択二）120 分

ご注意！

「認定作業療法士資格再認定試験」は 2023 年度をもって終了しました。

●各種審査・試験に関するお問合せ

一般社団法人日本作業療法士協会 教育関連審査会（試験班）
〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル
TEL：03-5826-7871 FAX：03-5826-7872
Email：ot-edushinsa@jaot.or.jp



福祉用具相談支援システムと生活行為工夫情報事業

生活環境支援推進室

はじめに

生活環境支援推進室の名称である「生活環境支援」とは、対象者の生活行為向上を図ることを目的に、①動作・方法の工夫の支援、②用具の支援、③住環境の支援等により生活環境に働きかける作業療法士の技術を示します。

障害者や高齢者が住みなれた地域で自分らしく暮らし続けることを目指す「地域包括ケアシステム」。生活環境支援推進室の活動目的は、作業療法士が地域包括ケアシステムに貢献できるよう、作業療法士の臨床活動、福祉用具や住環境整備手法の開発・研究を支援することです（図1）。

本稿では、生活環境支援推進室で取り組んでいる「福祉用具相談支援システム」と、同システム上で運営されている「生活行為工夫情報事業」の事業についてご紹介します。

福祉用具相談支援システム

福祉用具はテクノロジーの発展により多種多様なものが

製品化され、近年ではロボット技術や ICT 技術を用いた先端機器の開発が進む等、その専門技術は幅広いものになっています。このため、福祉用具全般を常に網羅しておくことは労力のかかることであり、作業療法士なら誰もが「アドバイスがほしい」と思ったことがあるのではないのでしょうか。

本会ではインターネットを利用した「福祉用具相談支援システム」を設けており、スマートフォンやパソコンを使って会員からの福祉用具のさまざまな相談を受け付けています。所属する都道府県作業療法士会（以下、士会）の福祉用具に詳しい相談アドバイザーによるアドバイスや福祉用具に関する情報提供等を行っており、「協会の身近な相談窓口」となっています。また、過去の相談対応の状況をサマリとして閲覧することができ、臨床のヒントにもなります。

本システムは、士会の協力のもと 2008 年から運営を始め、現在、42 都道府県士会が参画しており、2023 年度のシステム利用状況は月平均 410 件となっています。

臨床での福祉用具の適合、導入方法等に困ったら、ちょっとした質問でも構いませんのでぜひ気軽にご相談ください。

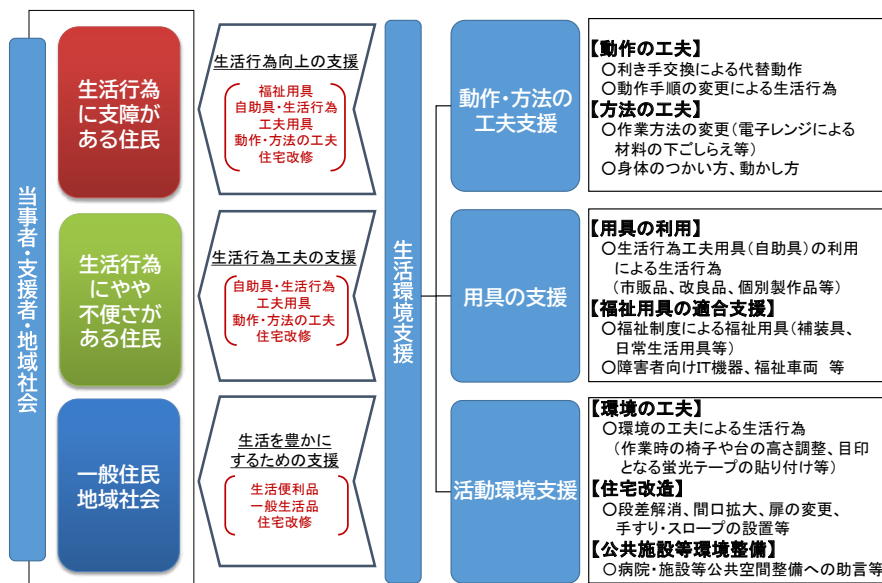


図1 作業療法士による生活環境支援

42士会 福祉用具相談支援システム参加士会

33士会 生活行為工夫情報事業参加士会

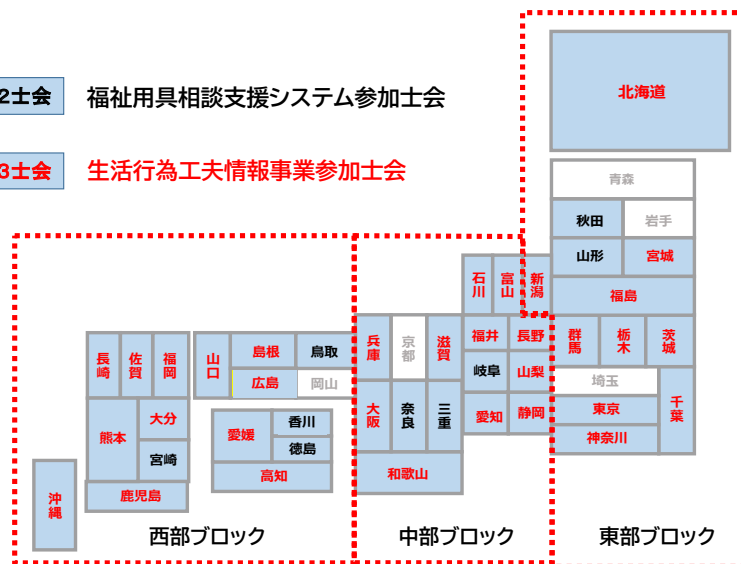


図2 士会参画状況 (2024年7月1日現在)

<登録件数> (2016~2023年度)

1,554件

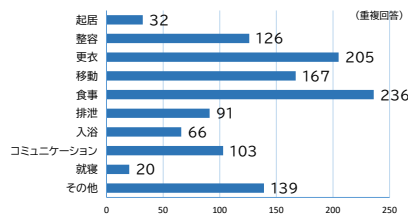
<事業実施士会>

全国31カ所

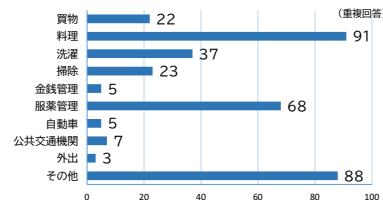
北海道、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、静岡、愛知、滋賀、大阪、兵庫、和歌山、島根、広島、山口、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島、沖縄

活動の種別状況

<ADL>



<IADL>



用具・活動の種別状況

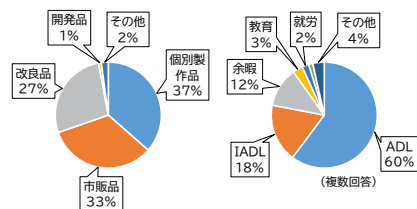


図3 生活行為工夫情報事業登録状況

調理・電子レンジ操作の工夫
(認知症 機械が苦手な高齢者)

電子レンジのボタンが多くて、どれを押せばよいかわからない方に対して、不要なボタンを隠す(市販品)

認知症や機械音痴の高齢者の方が、電子レンジのボタンをどれを押せばよいかわからないので、不要なボタンをビニルテープなどを張って、隠すようにすることで迷わずにボタンを押して弁当等をあたためるようになった。

【利用者・家族の声】

あたたかい弁当が食べられるようになった。



心身機能・構造の特徴	認知能力の低下等
活動・参加の制限の特徴	
工夫したポイント	電子レンジのボタンが多くて、どのボタンを押せばよいかわからずに混乱していたため、【あため】【取り直し】ボタン以外のボタンの部分にビニルテープを張って隠した。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	そのほかのボタンが見えなくなるため、もし必要時がある時は押せなくなる。
使用した製品	商品名(材料名) ビニルテープ 入手先・価格 100円均一店・ホームセンター 100円程度
備考	

図4 調理・電子レンジ操作の工夫

生活行為の工夫を通じた地域づくりの推進が可能かを検証（住民と地域の作業療法士の連携による継続的な取り組みが可能か、効果が見込まれるか）

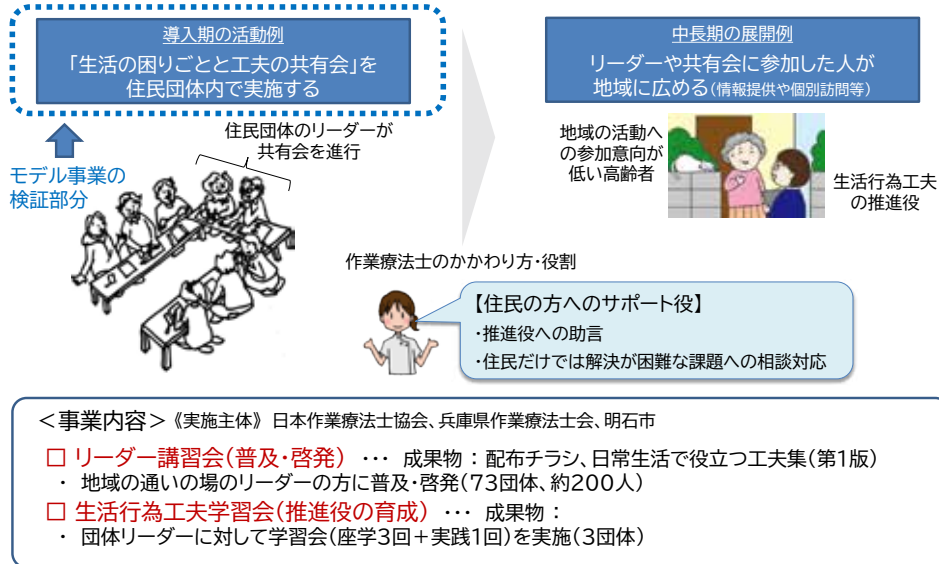


図5 2023年度 明石市モデル事業の概要

生活行為工夫情報事業

「生活行為工夫情報事業」は、福祉用具相談支援システムを用いて、作業療法士が日頃の業務で行っている生活行為の工夫を収集・活用する事業です。作業療法士は、高齢者や障害者等が地域のなかで生きがいや役割をもって自分らしい生活が送れるよう、生活行為の工夫や環境整備等を通じて自立支援を図ることを日頃から臨床において技術として用いています。しかし、その技術の多くは作業療法士個人の実践に留まり、情報共有がなされていない現状があります。そこで、これらの技術を集約し、作業療法士の臨床における活用をはじめ、ほかの医療・介護の専門職や地域にも技術を届けていくことで、当事者の自助・互助の取り組みを進め、課題解決力を高めていくことが本事業の目的です。

2016年から運用を開始し、現在、33都道府県士会が

参加しています(図2)。士会単位で登録数にバラつきはありますが、全国での登録事例は1,554件で、さまざまなADL・IADLに対する工夫が登録されています(図3・図4)。より利用登録を増やし、システムを充実させるために、全国を3ブロックに分けてブロックごとに生活行為工夫情報事業を連絡・連携していく体制整備を推進しています。また、昨年度は、兵庫県作業療法士会の協力のもと、明石市において住民向けの生活行為工夫に関する講習会や学習会を実施する等、「生活行為の工夫を通じた地域づくりモデル事業」を行っており、今年度も引き続き実施する予定です(図5)。

多くの会員の方が福祉用具相談支援システムを利用して、作業療法士としての技術の向上を図っていただければ幸いです。



事務局からのお知らせ

休会に関するご案内

現在は2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）の休会を受付中（提出期限は、2025年1月31日到着分まで）です。休会制度の詳細および「Q&A」については協会ホームページをご覧ください（協会ホームページ>会員向け情報>諸手続き）。なお、2025年度の休会を申請する方は2024年度の年会費をご納入のうえ、申請用紙は事務局までご請求ください。そのほかご不明な点は協会事務局（kaihi@jaot.or.jp）までお問い合わせください。

◎2024年度会費をまだご納入いただけていない皆様へハガキをお送りしました

7月末までに2024年度会費をご納入いただけなかった方へ協会事務局より「会費納入のお願い」ハガキをお送りしています。このまま年度末（2025年3月末）までに年会費のお支払いがありませんと会員資格を喪失し、現在の会員番号は使用できなくなり、なおかつ協会在籍履歴、生涯教育受講履歴もすべて抹消されます。また協会に再入会を希望される際は複雑な手続きが必要になりますので、そうならないためにも、早めに会費のご納入をお願いいたします。

振込用紙を紛失された方や、金額が不明な方は協会事務局（kaihi@jaot.or.jp）までお問い合わせください。

なお、会費納入状況や会員証については協会ホームページの会員ポータルサイトにログインをすることでいつでもご確認いただけます（会費納入状況の確認方法：協会ホームページ>会員ポータルサイト>登録情報>会員情報>会費納入状況）。

◎ご自身の登録情報が最新かどうかをご確認ください！

協会に登録している勤務施設は現在の職場でしょうか。協会より会員所属施設宛に郵送物等をお送りすると、既に退職済みとのことで返送されてくることがあります。また、発送先を自宅宛とご指定いただいている場合、勤務施設に関する情報が更新されず、古い勤務施設の登録が残ったままになっていることがあります。協会にご登録いただいている施設にその会員が所属しているものと判断します。会員登録情報は、さまざまな統計の重要なデータになりますので、ご自身の登録している勤務施設情報が最新であるかどうかを確認し、もし古い情報のままでしたら修正・更新をお願いいたします。また、施設等の変更はなくても、年に1回はご確認ください。

【登録情報の確認方法】

協会ホームページより、会員ポータルサイトにログインし「基本情報変更」で登録情報の確認・修正が可能です。

※パスワードをお持ちでない方、忘失された方はパスワードを再発行することができます（協会ホームページ>会員ポータルサイト>パスワードを忘れた方はこちら）。なお、パスワードを再発行するには研修受講カードが必要です。

※登録情報の変更は、変更届の郵送、FAX、メール添付によっても受け付けています（協会ホームページ>諸手続き>変更届）。

本連載では、「誰もが主役 多様な協会へ」というスローガンのもと、多くの会員に協会活動への参画の多様なあり方を提案したく、さまざまなかたちで協会活動に従事している方々にインタビューをして参ります。インタビュアーは「誰もが主役 多様な協会へ」推進チーム 高橋香代子理事・吉田尚樹氏です。

記念すべき1人目は、竹中佐江子理事です。それではどうぞ。



高橋

まずは、自己紹介をお願いします！

私は、大阪生まれ、大阪育ち。臨床6年目の時に訪問看護ステーションに転職しました。そこで、お子さんの在宅支援が足りていないことを実感しました。病院勤務時代は、時間をかけて通院してくるお子さんや親御さんの姿もみていましたので、生活の場で支援する療法士の必要性を感じるようになりました。



竹中



吉田

今は東京を拠点にお仕事をされていますよね。東京へはいつからですか？

14年前に結婚を機に東京に来ました。東京で民間会社（現：株式会社リニエR）の訪問看護ステーションの立ち上げにかかわり、2012年より取締役として主に子ども分野の事業展開や、人材育成の体制づくりに携わってきました。今まで発達領域に進みたかったけれど機会がなかった人、未経験だけどチャレンジしたいという人が挫折しない仕組みや実践の場づくりを模索してきました。



竹中



高橋

私も今年度から理事になりましたが、それまでは理事がどんなお仕事をしているのか漠然としか知りませんでした。竹中理事から、理事の主な職務を読者の皆さんにお伝えいただけますか？

理事は、理事会に出席して、協会の活動方針や事業内容、組織やルールづくり等の重要事項について質問や意見を述べたり、提案をしたり、決議に参画したりすることが主な職務になりますね。



竹中



昨年開催された第4回日本-台湾作業療法ジョイントシンポジウムで講演する竹中理事



愛犬と一緒にセーリングを楽しむ竹中理事



吉田

理事の皆さんは理事会に出席するだけでなく、さらにさまざまなお仕事をされているようにみえます。

はい、広い意味で本会の理事の役割は「作業療法士が社会に対してどんなことができるのかを発信する」ことなんだと思います。社会課題やニーズをキャッチし、作業療法士がどう活躍することができるのかを考えていくこと、作業療法士のなかだけでなく、もっと関連団体も含めた外的世界とつながっていくこと、協会の「顔」としての役割も重要です。



竹中



高橋

竹中理事はなぜ理事になろうと思ったのでしょうか？

臨床現場だけで働いていた当時は、私個人が動けばいいというふうに思っていたんです。でも、事業の立ち上げにかかわるなかで、私が動くのではなくて仕組みづくり等のマネジメントも必要だと感じ始めました。

また、私が医療機関から地域に出た頃は、子どもの訪問リハビリテーションをやっているところはほとんどなく、在宅や地域支援が重要であり、解決していくべき課題がたくさんあると感じていました。「地域の子どもの支援する作業療法士を増やしたい！」というミッションと課題解決のためにも何かしなくてはと思っていました。そんな思いが動機になっていますね。



竹中



吉田

理事としてだけでなく、ほかにも協会のお仕事をされていますよね？

はい、教育部の部長として、作業療法士の卒前卒後の教育にかかわる制度づくり等にも携わっています。そのなかでも、今は来年度からスタートする新しい生涯学修制度や次期指定規則改正に向けて検討班の皆様と一緒に準備を主に進めています。



竹中



高橋

本務やプライベートと協会のお仕事の両立については、どうされていますか？

仕事の割合としては、本務や協会理事関連業務も含めて9割ぐらい、プライベートは1割ぐらいでしょうか。「プライベートは1割」と聞くと少なく感じる方もいるかもしれませんが、私の頭のなかでは切り分けて考えられるものではなくて、すべてつながっているんです。協会活動を継続するためには、家族がどう思うかという問題はあります。私には夫と愛犬がいるので、家族の理解と協力は不可欠です。家庭内では得意なところをやって苦手なところは夫に任せたりと役割分担をしながら、家庭内マネジメントを心掛けています。



竹中



吉田

多岐にわたるお仕事をポジティブに取り組んでいくためにも、プライベートの時間が重要ですね。「1割」のプライベートの時間はどのように過ごされているんですか？

プライベートでは、家族との定期的なコミュニケーションを大切にしています。夫とは大学時代のヨット仲間なんです。なので、今も一緒に休日はヨットのレースに出たり、練習したりしていますね。家族と共有できる時間や楽しみがあるといいのかもしれない。



竹中



高橋

竹中理事にとって、理事としてのお仕事の面白さややりがいはどういったところにありますか？

自分が経験してきた領域と違う方々と一緒に制度や仕組みをつくり上げることですね。たとえば、理事1期目の時に、運転と地域移動支援実践者の制度創設に委員会の皆様や教育部と一緒にかかわった経験は貴重でした。協会の理事をさせていただくことで見える景色が変わるんです。個人の視点を超えて、地域や社会といった広い視点で課題を見つけることができるところに、理事であることのやりがいを感じています。まだまだ未経験のことが多く、自分の考えの至らなさも日々感じています。ですが、達成できた時の満足感は、ほかではなかなか得られないものだと思います。



竹中



吉田

クォータ制の導入について、竹中理事はどうお考えですか？

協会の会員構成は、とても多様なんですよね。今回はジェンダー・クォータ制になりましたが、女性のためだけに導入されるわけではないと思っています。子育てが女性に偏っているところがまだまだあるなかで、誰もが協会活動に参画する機会をもっと促進していくためにも、ジェンダー・クォータ制の導入には賛成です。

加えて、世代も重要だと私は思います。ジェンダーへの意識も世代により異なります。もっとさまざまな世代の理事や役員が意見を出し合い、協会の認識や価値観を変えながら、協会をつくり上げていくことが必要になってくるのではないのでしょうか。



竹中



高橋

最後に会員の皆さんにメッセージを！

協会への参画は特別なものではありません。自分が作業療法士として感じてきた疑問や課題を解決するチャンスでもあります。人とのつながりを通して、新たな自分の可能性を広げることができるかもしれません！ できることから一緒に始めてみませんか？



竹中



高橋



吉田

ありがとうございました！

今回は、竹中佐江子理事から協会活動の内容や参画のあり方、工夫等についてお話していただきました。また今後、導入されるクォータ制についても多様な協会のあり方と絡めながらご意見をお聞きできました。ぜひ、皆様にとって多様な協会活動への参画の一步として参考に、そしてクォータ制をそのきっかけにいただければ幸いです。

次回も、「誰もが主役 多様な協会へ」推進チームの記事を楽しみにお待ちしております。

APOTC2024 開催まで残り3ヵ月となりました！

第8回アジア太平洋作業療法学会(APOTC2024)

互いに支えあう地域づくり
—持続可能で根拠に基づいた作業療法—

会期：2024年11月6日(水)～9日(土)

会場：札幌コンベンションセンター

学会長：山本 伸一 (一般社団法人日本作業療法士協会会長)

Ling-Hui Chang (アジア太平洋作業療法地域グループ会長)



8 APOTC.2024
th Sapporo, Japan

一般参加者の事前参加登録は9月30日です

発表予定のない参加者の方々の事前参加登録の締切は、9月30日です。なお、日本作業療法士協会会員は2024年度の会費が納入済みであることが、参加登録のための条件となっています。申し込み締切間近の会費の納入と参加登録はシステムが混雑する恐れがありますので、時間に余裕をもって納入と参加登録をお済ませください。「参加登録」ページの参加登録条件をご確認のうえ、お忘れなくご登録ください。

Precongress Workshopのご案内

3Dプリンタ、災害時リハビリテーション、シニアサポート犬、マインドフルネス、オタク文化、園芸療法、移民・難民支援、ロボットセラピー、マルチタスクプログラム、脳機能測定、ADLの客観的計測等、多様な企画が予定されています。各企画の詳細は、学会ホームページをご確認ください。

企画の内容に合わせて、90分、120分、180分のワークショップがありますので、午前と午後で1つずつ、または午後に2つ等、ご興味のあるワークショップに複数ご参加いただくことも可能です。また、参加費は個々のワークショップ企画によって異なり、無料のものもあります。このPrecongress Workshop参加費は、APOTC2024(6日～9日)の参加費には含まれませんのでご注意ください。

座長・演者へのお知らせ

座長・演者ガイドラインを学会ホームページで公開しました。ポスターのテンプレートや座長セッションフレーズをご用意しています。発表・座長予定の方々はご確認をお願いいたします。

※ポスターはA0サイズ(横841mm×縦1189mm)の縦型です。

託児所のご案内

APOTC2024はぜひお子様と一緒にご参加ください。

講演、発表もお子様とお聞きいただけますし、事前申込制の託児所もごございます。託児所は定員に限りがございます。申し込み方法、料金、利用条件等の詳細は学会ホームページでご案内いたします。

国際交流を楽しむ日本文化体験コーナー

海外の方に日本文化を体験してもらうため、札幌市のボランティア団体にご協力いただき、7日の午後に茶道体験を実施いたします。茶道体験以外にも、APOTC実行委員と国際部を中心に海外参加者・お子様に楽しんでいただけるような企画(体験・展示)を考えています。学会受付エリアのエスカレーター付近で実施予定ですので、会員の皆様もぜひお立ち寄りください。

8日の夜はガラディナーへ

国際交流で友人や仲間を増やしましょう。バイオリン演奏や和太鼓演奏等の楽しいアトラクションも企画しています（海外からの参加者は伝統的な衣装で参加されるかもしれませんがね！）学会とは違う雰囲気の中、フランクに世間話をしている時こそ交流関係が広がり、ご自身の臨床や研究につながるような収穫を得られるものです。

札幌パークホテルを会場に19時開場します。参加料金は10,000円です。「参加登録」ページからぜひお申込みください。学会場→札幌市内のホテル→札幌パークホテルのシャトルバス運行も予定しています。

英語でのコミュニケーションに不安がある方へ

国内で開催する国際学会は、数十年に一度のまたとない機会です。英語に対する不安もあるかと思いますが、一方で、ワクワク感もあるのではないのでしょうか。ワクワク感は不安や緊張の裏返しです。不安や緊張を楽しんでみてください。新しい仲間や発見が必ずみつかるとは必ずです。ぜひ参加者の皆さんと共有して、交流を楽しんでください！

言語の壁をできるだけ低くできるよう、学会では次の支

援やサービスを行います。

- ・開閉会式、基調講演（6日・9日）、佐藤剛記念講演（7日）には英語⇄日本語の同時通訳が入ります。
- ・学会アプリでは、すべての発表抄録がご覧になれます。ご自身が興味ある発表の抄録に事前に目を通していただけます。
- ・会場には他言語に対応できる運営スタッフ・ボランティアもおります（また、日本語にチャレンジしたいという他国の作業療法士もいますので、ぜひコミュニケーションを楽しんでください！）。
- ・午前と午後のコーヒーブレイク、ウェルカムパーティー、ガラディナー等、他国の作業療法士と交流できる機会もご用意しています。

加えて、ご自身でスマホの無料翻訳・通訳アプリや有料翻訳機等をご準備いただき、ご活用いただくのもよいと思います。また、国際部「英語で学会発表しよう！基礎編～抄録作成・質疑応答・多国籍コミュニケーションのポイント」（9月29日開催）の申し込み受付も始まっています。会員ポータルサイトからぜひお申し込みください。

○参加登録ページ

https://www.c-linkage.co.jp/apotc2024/registration_jp.html



●学会に関するお問い合わせ先

第8回アジア太平洋作業療法学会（APOTC2024）運営事務局
株式会社コンベンションリンケージ内
Email: apotc2024@c-linkage.co.jp

企画セミナーってどんなもの？



第58回日本作業療法学会

作業療法の効果を最大化する知識・技術・環境を問う

会 期：〈現地開催〉2024年11月9日(土)・10日(日) ※一部ライブ配信
 〈オンデマンド配信〉2024年11月9日(土)～2025年1月13日(月・祝)

会 場：札幌コンベンションセンター

学会ホームページ：<https://www.c-linkage.co.jp/ot58/>

学会長：仙石 泰仁（札幌医科大学 保健医療学部）



第58回日本作業療法学会では市民公開講座や教育講演、シンポジウム、企画セミナー、一般演題等、さまざまなプログラムが準備されています。市民公開講座や教育講演等では各テーマに造詣の深い先生方からの専門的なレクチャーを、一般演題では筆頭著者らが実施している普段の臨床や研究の成果についての発表を通して多くのことを学ぶことができます。

本誌第147号（2024年6月15日発行）掲載の連載第1回では仙石学会長が市民公開講座や教育講演について、本誌第148号（2024年7月15日発行）掲載の連載第2回では一般演題について紹介していますので、まだご覧になっていない方はぜひご一読ください。これに引き続き、今回は企画セミナーについてご紹介します。

企画セミナーとは

企画セミナーとは、本会が認定している作業療法関連学会・研究会・SIG (special interest group)・協会内の部・室を対象とした公募型のセミナーのことです。

作業療法の対象分野が広がっていきなで、学会の専門分化を議論する過程で企画されました。企画セミナーを募集する際は「本大会のプログラムにはないようなユニークなテーマ・内容」として公募しています。市民公開講座や教育講演等は学会のテーマ「作業療法の効果を最大化する知識・技術・環境を問う」に沿って各講師に依頼し、準備を進めたものになります。一方で企画セミナーは、各関連団体が普段専門としている領域についての講演が行

学会企画こぼれ話 ～学会のおカネについて～

学会の収入源は学会参加費です。機器展示や広告による収入もありますが、学会参加費は全収入の8割以上を占めており、皆さんの参加があってはじめて学会が運営できています。ちなみに、協会員は皆、学会長も協会長も講演の講師も学会企画委員も全員、参加費を払って学会参加しています。

支出面で金額が大きいのは会場費や機材・備品費です。ハイブリッド学会では現地開催のための会場費に加え、Web配信のための機材や人件費にかかる費用が大きいため、収支のバランスは非常にキビシイ状況です。開催地の助成金の活用を検討する等、健全な収支を目指しています。

われるため、よりオリジナリティに溢れた内容になっており幅広い知識に触れることができます。

表 企画セミナーのテーマ一覧

	テーマ(カッコ内は団体名)
1	認知症の人とその家族に作業療法が貢献できること—行動心理症状を解決し生活の質向上に貢献する—(Review Circle on Rehabilitation for Dementia:RCRD)
2	循環器作業療法を根拠のある専門知識に基づいた作業療法を提供するために(循環器臨床作業療法研究会)
3	システマティックレビューの知見に基づいた地域在住がん経験者に対する作業療法実践から入院がん作業療法のヒントを考える(Occupational Therapy in Oncology - Researchers Network)
4	未来の発達系作業療法:エビデンスと実践から効果の最大化を考える(日本発達系作業療法学会)
5	持続可能なモビリティのための一歩:運転と地域移動支援実践者制度の重要性(日本作業療法士協会 地域社会振興部 地域事業支援課 運転と地域移動推進班)
6	手の機能評価の活用—評価マニュアルと新しい評価表の紹介—(日本ハンドセラピー学会)
7	未来の作業療法を支援するロボット開発のあるべき姿を考えよう(日本CIセラピー研究会)
8	リハビリテーションにおける運動学習:効率的な介入のための理論と実践(日本作業療法研究学会)

企画セミナーに参加するメリット

企画セミナーに参加することには、数多くのメリットがあります。たとえば、①専門知識の獲得に加えて最新トレンドや新たな知見を得られる、②ネットワーキングを通じて、同じ分野の専門家や関心をもつ人々との協力関係を築くことができる、③アイデアや視野を拡大することで新しいアプローチや異なる視点からの情報を収集できる等が挙げられるでしょう。

また、企画セミナーに参加し、自身もその団体や活動へ参加したいと考えた際にはメール等で連絡を取ってみましょう。団体により差はあるかもしれませんが、全国的な活動を行っている学会・研究会も多いため、その団体に所属することができればご自身もその活動に参加することができます。今現在の活動の場からさらにその範囲を広げて活躍したいと考えている方にとって、企画セミナーは良いチャンスになることでしょう。

今年度の企画セミナーについて

今年度は、さまざまな団体から延べ 27 件の応募をいただきました。残念ながら日程や会場の都合上すべてを採用することが叶いませんので、学会企画委員会で審査を行い、8つの企画セミナーを開催することとなりました。本稿では企画セミナーのテーマと団体名を掲載しますので、学会参加時にどの企画セミナーに参加するかを検討する際の参考にしてください。今年度は認知症、循環器、がん、発達領域、運転と地域移動、手の外科、CIセラピー、運動学習といった多方面にわたるテーマとなっています(表参照)。

本学会での企画セミナーは学会 1 日目の 18 時 10 分から 1 時間にわたって実施される予定です。また、学会会場で実施される企画セミナーの様子を録画し、学会開催後にオンデマンドにて配信することも予定されています。現地で参加する場合、興味のある企画セミナーが複数あっても同時時間帯に参加できるセミナーは限られてしまいますが、オンデマンド配信であれば希望するすべての企画セミナーを視聴することが可能です。現地での参加を予定されている方はもちろん、Web 参加予定の方もオンデマンド配信を活用することでより多くの学会にすることができるようでしょう。

以上、今回は企画セミナーについてご紹介しました。より詳細な情報は準備が整い次第、学会ホームページにてお知らせしますので随時チェックしてみてください。

作業療法士は専門職である以上、臨床場面で巡り合う対象者の力になるために、常に最新の知見にアンテナを巡らせ情報を収集することが求められています。その結果、臨床場面で巡り合う対象者の力になることができるでしょう。日々研鑽を積まれる皆さんの作業療法士としての引き出しをさらに増やす機会として企画セミナーをご活用いただければ幸いです。どのセミナーも講師陣が腕によりをかけて準備しておりますので、ご参加いただく皆さんにもきっとご満足していただけるでしょう。

多くの皆さんに第 58 回日本作業療法学会へご参加いただくことを心よりお待ちしております。次回の学会 NOTE 第 4 回では「学会の見どころと番外編！」というテーマでお送りする予定です。次回もお楽しみに！



日本作業療法士協会と大韓作業治療師協会間における交流及び協力に関する協定書 全文



Agreement for Exchange and Cooperation Between Japanese Association of Occupational Therapists and Korean Association of Occupational Therapists

In a mutual desire to promote further exchange and establish cooperative relationship, Japanese Association of Occupational Therapists (JAOT) and Korean Association of Occupational Therapists (KAOT) agree to the following terms and conditions:

< Objective >

1. The objective of this agreement is to build an effective cooperative relationship between the Associations and for both Associations to contribute to each other, through deepening each Association's understanding of the diverse possibilities of occupational therapy through the mutual exchange of information, striving for academic and technical improvement, and encouraging the development of talent through therapist exchange in the areas of clinical practice, education and research.

< Areas >

2. The areas of exchange and cooperation shall be as follows:

- 1) exchanging and sharing academic, technical and association-related information; and
- 2) therapist exchange in the areas of clinical practice, education and research with the aim of development of global occupational therapists

< Administration >

3. Both Associations can organize and hold consultation meetings comprised of members of both Associations in order to discuss the specific content and methods of exchange and cooperation under this Agreement and to support its success.

< Confidentiality >

4. Neither Association may disclose or divulge any information of the other Association obtained directly or indirectly in the course of fulfilling their obligations under this agreement to any third party. Should it be necessary for such information to be disclosed, the disclosing Association must obtain the written consent of the other Association.

< Term, Renewal and Termination >

5. This agreement will be effective for a term of five years from the day of signature, and may be extended beyond that period upon consultation between the associations.

6. Where either Association wishes to terminate this agreement, they shall give notice to the other Association at least one year prior to the termination date.

As evidence of this agreement, two copies of this agreement shall be prepared in Korean, Japanese, and English, respectively, each to be signed and retained by each Association, with one copy held by each. The documents thus prepared shall constitute formal documents of equal validity.

June 20, 2024

Japanese Association of Occupational Therapists
President Shinichi Yamamoto

Korean Association of Occupational Therapists
President Jieun Lee



日本作業療法士協会と大韓作業治療師協会間における交流及び協力に関する協定書

一般社団法人日本作業療法士協会（JAOT: Japanese Association of Occupational Therapists）と大韓作業治療師協会（KAOT: Korea Association of Occupational Therapists）とは、作業療法に関わる交流を促進し協力関係を確立するために、次の通り協定を締結する。

（目的）

1. 本協定は、両協会が相互の情報交換を通して作業療法の多様な可能性について認識を深め、交流を通して作業療法の学術的発展と技術的な向上を図り、臨床・教育・研究分野の人的交流を通して人材の養成を促進するなど有機的な協力関係を構築し、もって相互に寄与し合うことを目的とする。

（分野）

2. 交流及び協力分野は以下の通りとする。
 - 1) 両協会の学術情報、技術情報、及び協会活動情報などの交換と共有
 - 2) 国際的作業療法士の育成に向けた、臨床・教育・研究分野における両協会員の人的交流

（組織）

3. 本協定による交流及び協力の具体的な内容と方法を協議し、成功裏に移行するために、両協会は各々派遣する担当者による実務協議会を構成・運営することができる。

（秘密保持）

4. 本協定により遂行する事業を推進する過程で直接・間接的に取得した相手協会の情報は第三者に開示もしくは漏洩してはならない。情報公開が必要な場合は相手協会の書面による同意を得ることとする。

（有効期間及び更新・協定の解消（解約））

5. 本協定は、調印の日から効力を生じ5年間有効とし、両協会の協議によりその期間を超えて延長することができる。
6. どちらかの協会が本協定の解約を求める場合には、有効期限内であっても1年前に申し出た場合には解約できる。

この協定を証するため、本書は韓国語、日本語、英語で2通ずつ作成し、各協会が署名の上、各協会1通ずつ保有する。それらの文書は同等の効力を有する。

2024年6月20日

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 山本伸一

社団法人 大韓作業治療師協会
会長 ジウン リー



2023 年度精神科における作業療法実態調査 結果報告

制度対策部では臨床での作業療法の実態把握のため各種調査を行っており、精神科については、例年、会員が所属する精神科病院の作業療法士を対象に調査を行っています。今回は2024年2月に行った調査について概要を報告します。

- ・退院支援・地域移行・訪問
- ・児童・思春期患者への関与
- ・外来作業療法
- ・療養生活継続支援加算
- ・就労支援・治療と仕事の両立支援
- ・制度・診療報酬への要望

調査概要

調査期間：2024年2月21日～3月15日

対象施設数：1,385 施設

回答数：669 施設

有効回答数：619 施設

有効回答率：44.7%

調査項目：

- ・病院基本情報
- ・精神科退院時共同指導料
- ・慢性療養者の医療・支援のあり方
- ・精神科作業療法計画の作成の現状

調査結果

1) 病院基本情報 (n=619)

病院基本情報、作業療法部門の状況(図1)は例年と大きな変化はありませんでした。精神科作業療法について、作業療法士1名当たりの1日の算定人数は平均18.14人でした。2018年度調査では19.6人、2021年度調査では18.95人、2022年度調査で18.36人、わずかながら減少しています。

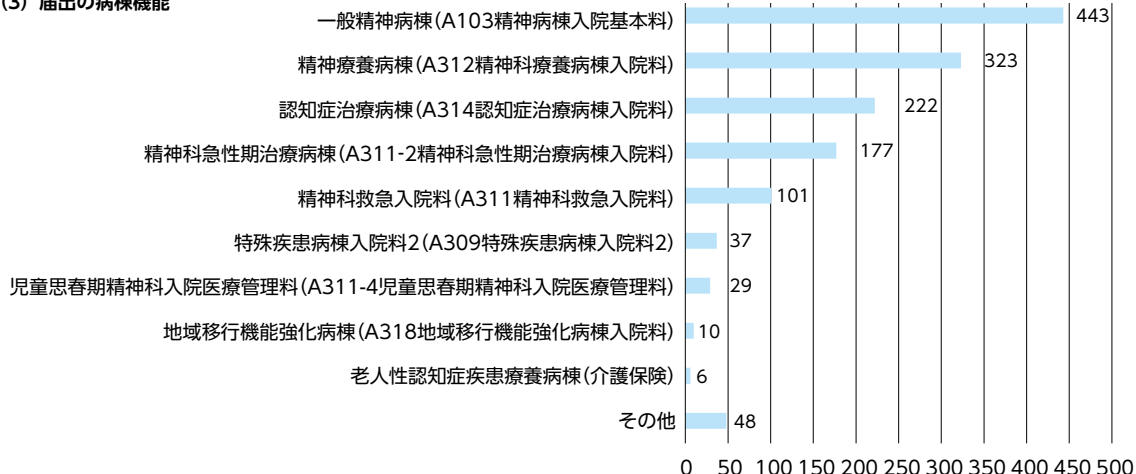
(1) 設置主体

民間	506 (82%)
自治体(都道府県・市町村等)	48 (8%)
独立行政法人	29 (4%)
その他	36 (6%)

(2) 病床数

平均 203.2 床 (中央値 182.5、最大 785)

(3) 届出の病棟機能



(4) 作業療法部門(平均)

作業療法士数 常勤 8.65 人 非常勤 0.36 人
 精神科作業療法の登録実人数 6.34 人
 精神科デイケアの登録実人数 0.25 人
 作業療法士1名当たりの1日の算定人数 平均 18.14 人 (最大 48 人)
 * 2023年12月2週目の平均。
 1日の精神科作業療法実施件数 ÷ 精神科作業療法登録作業療法士数

図1 病院基本情報、作業療法部門の状況

2) 精神科退院時共同指導料

令和6年度診療報酬改定では、入院早期から包括的支援マネジメントに基づいた入退院支援を評価する入退院支援が新設されました。包括的支援マネジメントは、多職種によるアセスメントとプランニング、介入（マネジメント担当者自身による直接サービスの提供）を包括した集中的なケースマネジメントであり、令和2

年度（2020年度）診療報酬改定では、退院時に包括的支援マネジメントを活用する「精神科退院時共同指導料」が新設されています。今回の調査では精神科退院時共同指導料（図2）および包括的支援マネジメントへの取り組み（図3～図6）について尋ねました。

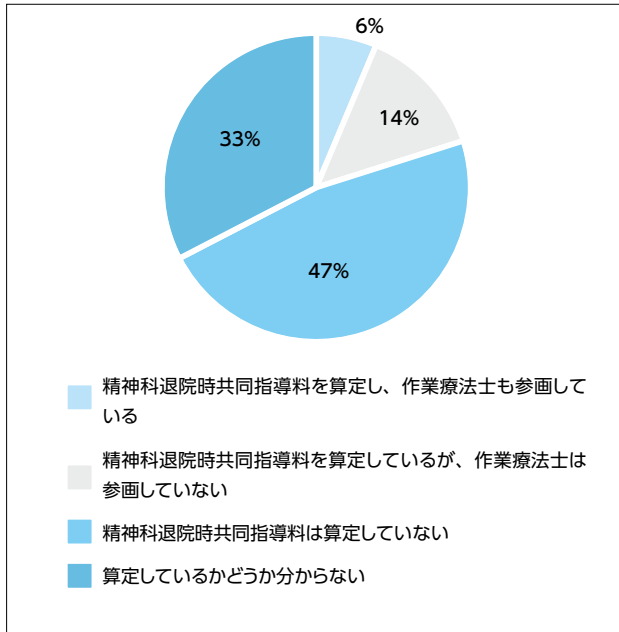


図2 精神科退院時共同指導料の算定状況 (n=552)

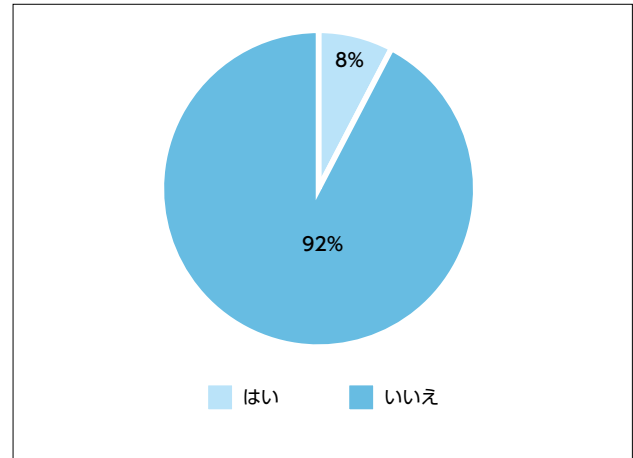


図3 包括的支援マネジメントのアセスメントに参画したことがあるか (n=78)

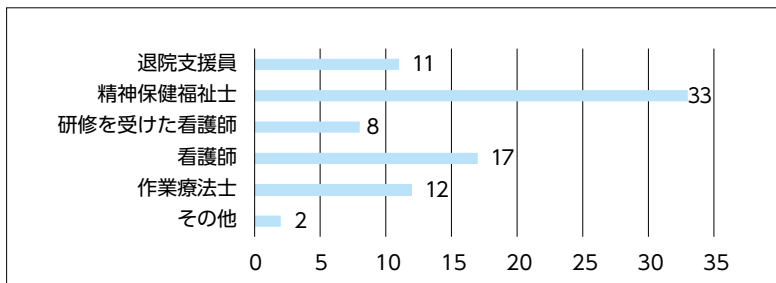


図4 包括的支援マネジメントのアセスメントの実施者 (n=39) ※複数選択

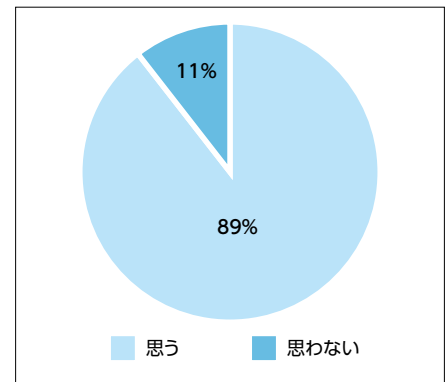


図6 包括的支援マネジメントを作業療法士が実施するうえで研修が必要と思うか (n=38)

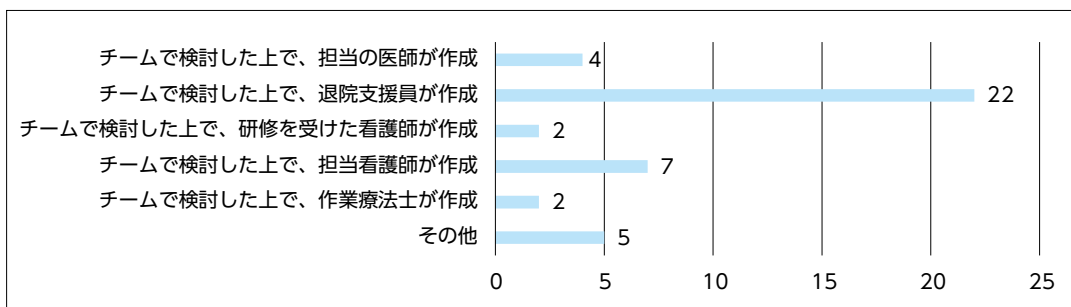


図5 包括的支援マネジメントの計画の作成者 (n=36) ※複数選択

3) 精神科作業療法計画の作成

例年、精神科作業療法計画作成について質問していますが、作成の割合は2020年度75%、2021年度77%、2022年度

79% (図7) と少しずつ増加しており、2022年度と比べて作成割合は変わりませんが、すべての対象者に作成している割合は87%から89%へと少し増えています (図8)。

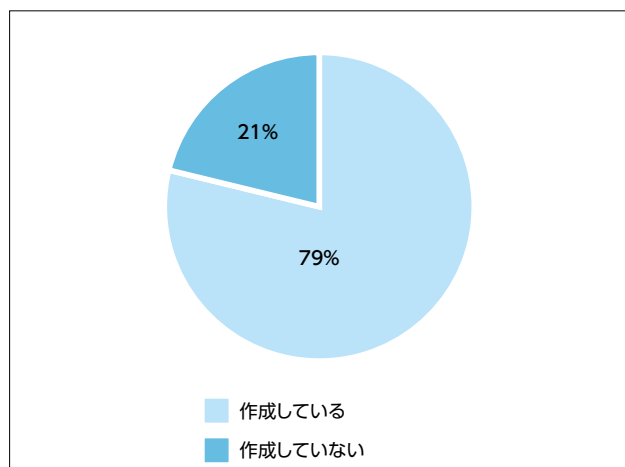


図7 精神科作業療法計画の作成有無 (n=480)

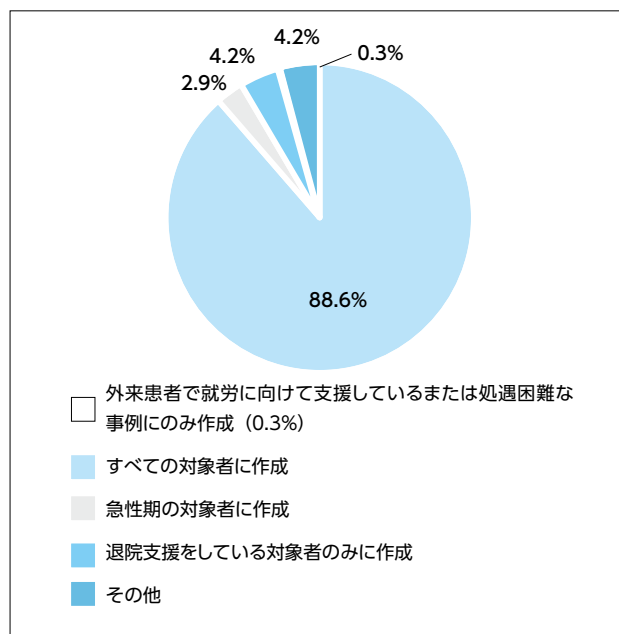


図8 計画を作成している対象者 (n=385)

※最も該当するものを1つ選択
 ※小数点第2位で四捨五入しているため、
 合計が100%になりません

4) 回復期・慢性期・精神科デイケアでのプログラムの目的と実施内容

時期別に作業療法および作業療法士がかかわる目的と実施内容について尋ねました。グラフはそれぞれn数が異なるため割合にして比較しています。

回復期ではサーカディアンリズムの回復や作業を通じた精神的

安定、慢性期では精神・身体機能の維持、廃用症候群の防止、デイケア等ではソーシャルスキルや就労、余暇活動支援等が目的となっており、時期ごとの違いがみられました (図9)。一方、プログラムの内容としては、回復期と慢性期で手工芸・創作活動、デイケア等で職業関連、コミュニケーション・生活技能訓練、心理教育が多く実施されていました (図10)。

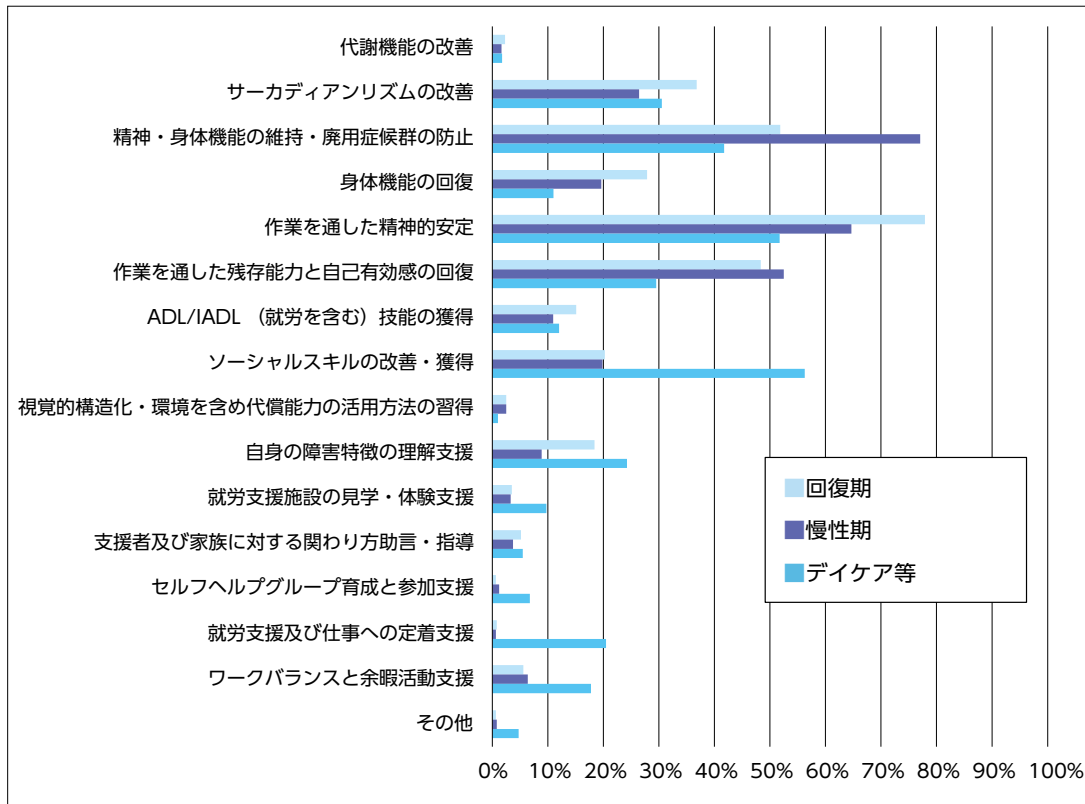


図9 回復期・慢性期・精神科デイケアでのプログラムの目的

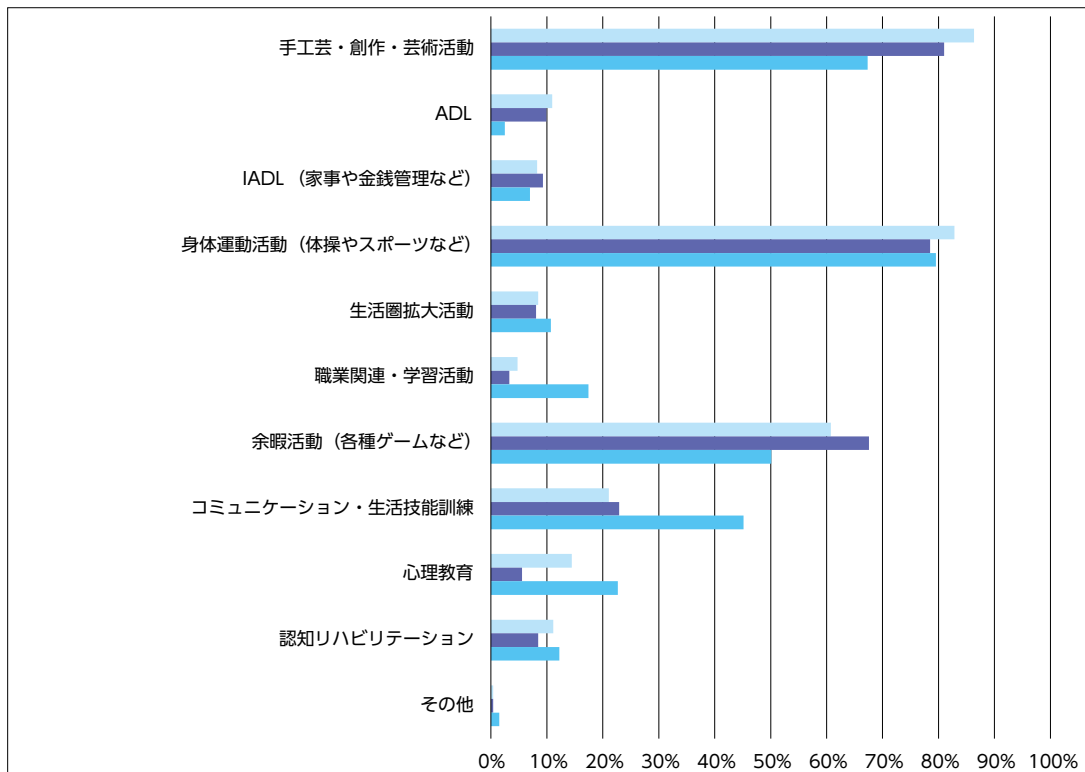


図10 回復期・慢性期・精神科デイケアでのプログラムの実施内容

5) 就労支援・治療と仕事の両立支援

就労は社会参加のひとつであり、精神科病院で作業療法士がかかわる対象者の希望や目標としても就労は多く挙げられます。回答した施設のうち37%で作業療法士が就労支援を行っていました(図11)。就労支援の実施形態としては、精神科デイケアやショートケアが最も多く、次いで入院患者に対する個別的な精神科作業療法、外来患者に対する個別的な精神科作業療法でした(図12)。

具体的な実施内容としては、就労に向けた精神機能の回復練習が最も多く、次いで就労系サービス事業所の選定と見学支援

や体験が挙げられ、職場復帰に向けた職場の評価や関係者とのカンファレンス、ハローワークとの連携等も含め、現場に足を運んだり、関係者と連携したり等、就労に関して積極的な介入が行われていました。また、就労後のフォローアップや休息・リフレッシュプログラム等、生活全体を見渡し就労が継続するような働きかけもなされていることがうかがえました(図13)。

就労支援に関する課題としては、就労を希望する人が少なくきっかけをつくることから始める必要がある、会社との連携方法、スタッフの人数が少ないことやデイケアの枠内では個別に同行すること等が難しい、といった意見がありました。

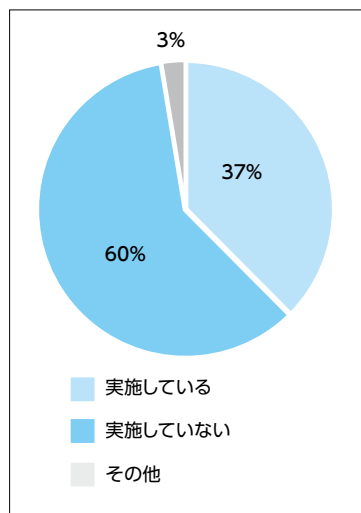


図11 作業療法士による就労支援の実施の有無 (n=538)

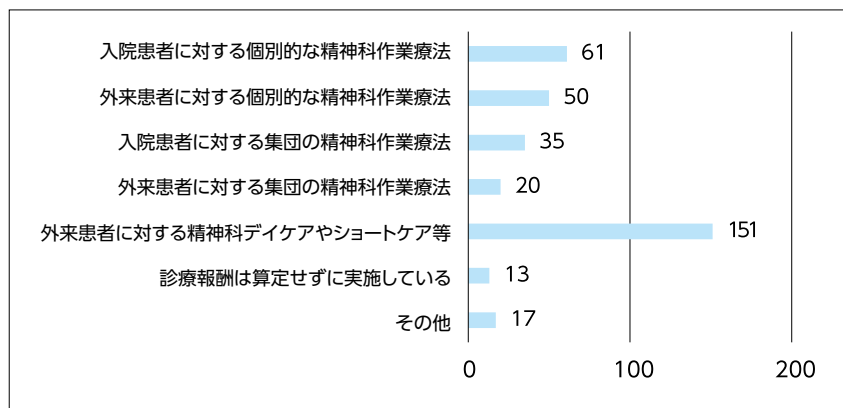


図12 就労支援の実施形態 (n=210) ※複数選択

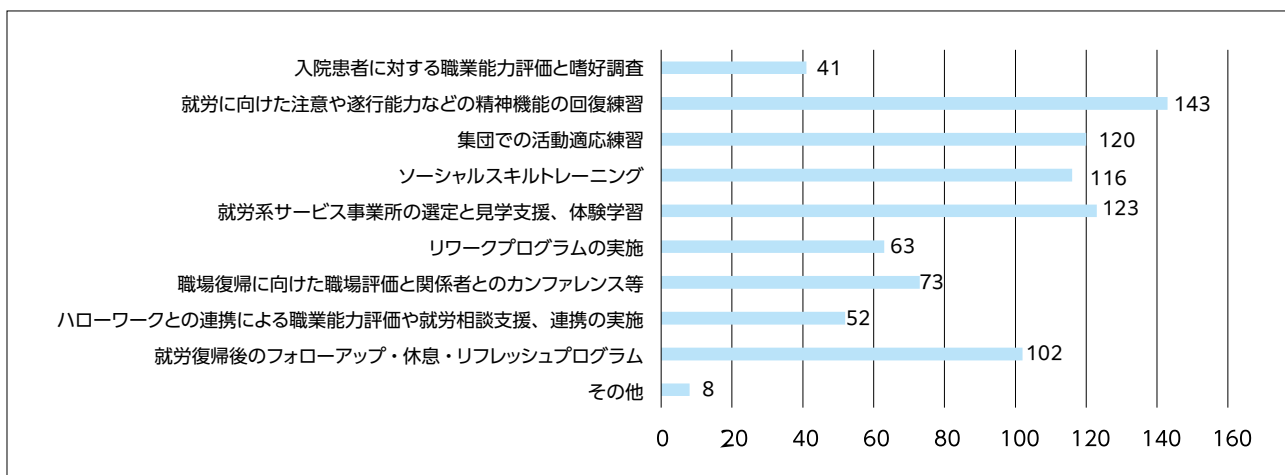


図 13 具体的実施内容 (n=209) ※ 複数選択

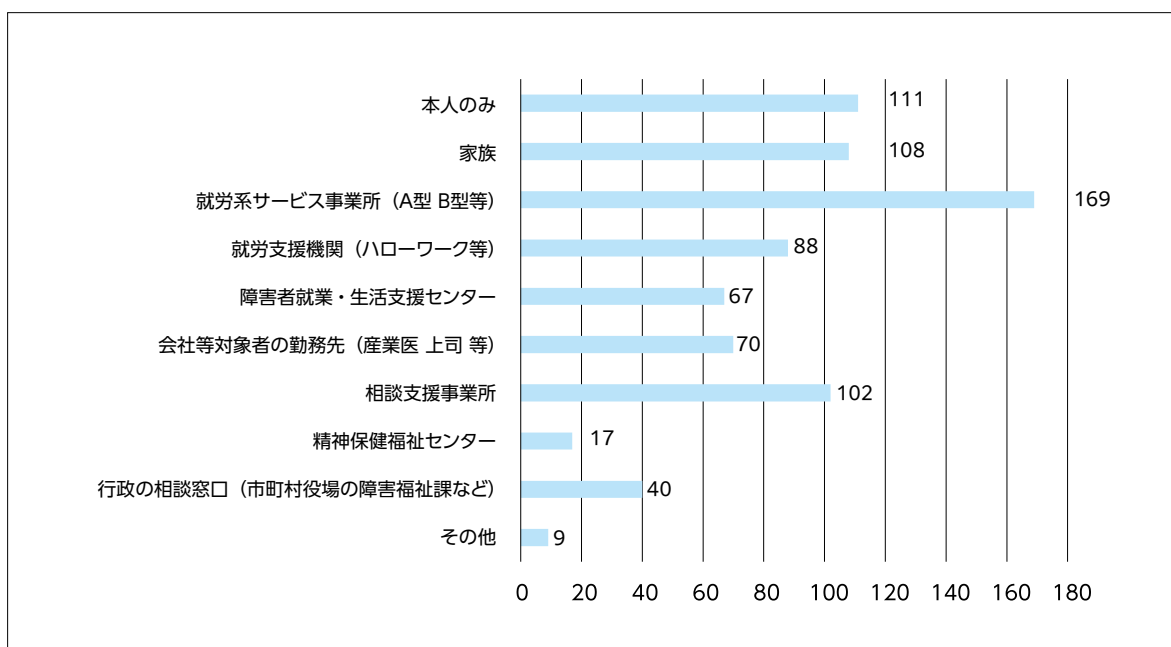


図 14 就労支援を実施するうえでの連携先 (n=208) ※ 複数選択

まとめ

毎年行っている精神科の作業療法実態調査には、今回も多くの方に回答のご協力をいただきました。ありがとうございました。今年度は報酬改定後の緊急調査と例年の実態調査の2回の実

施を予定しています。引き続きのご協力をぜひよろしくお願いいたします。

紙面の都合上割愛した項目が多くあります。結果の全体版は会員ポータルサイトに掲載していますので、ぜひご確認ください。



各部の動き

学術部

●『作業療法ガイドライン』について

『作業療法ガイドライン』の改訂作業が、大詰めの段階となっております。2024年度版として発行される予定です。この『作業療法ガイドライン』は、疾患別のガイドラインや作業療法マニュアルシリーズの上位に位置付けられ、作業療法の基本的枠組みを示す重要なガイドラインです。発行されましたら本会ホームページに掲載しますので、是非ご一読ください。

●第58回日本作業療法学会の参加登録について

第58回日本作業療法学会（北海道）では、事前参加登録、Web参加登録を受け付けています。事前参加登録期間は、2024年10月31日正午までとなっています。ぜひともご参加ください（APOTC2024に全日参加登録される方は、本学会への現地参加が可能ですので、本学会の事前参加登録は必要あ

りません。ただし、Web参加の場合は別途登録が必要です。また、演題発表される方も登録が必要となっています。詳細は学会のホームページ (<https://www.c-linkage.co.jp/ot58/registration.html>) をご覧ください。

また、第60回日本作業療法学会の開催地が新潟に決定しましたことお知らせいたします。開催期間は2026年11月20日～22日です。

●2025年度課題研究助成制度について

2025年度課題研究助成制度の研究募集については、募集内容を現在検討しており、確定次第、本会ホームページ等に要項を掲載する予定ですので、応募を検討されている皆様はご留意ください。

教育部

●今年度の研修会について

教育部生涯教育課ならびに養成教育課では、生涯教育制度における研修会および重点課題研修や他団体との連携研修の企画・運営を行っています。今年度の研修会ですでに開催期日が決まっているものは、本誌 p.33-35 に掲載しています。

今年度も多様な学習機会の提供に向け、eラーニングコンテンツの作成、配信も進めています。現在、専門作業療法士取得研修、重点課題研修を中心とした17コンテンツを配信しています。コンテンツの一つである、「英語で学会発表しよう！基礎編～抄録作成・質疑応答・多国籍コミュニケーションのポイント～」は、今年11月に札幌で開催されるAPOTC2024に向けた英語でのコミュニケーションスキルや発表準備等の基本的なスキルを学ぶことができます。

今年度新たに、専門作業療法士取得研修の高次脳機能障害基礎I、がん基礎Ⅲ、脳血管障害基礎Ⅱ等のコンテンツ化を進めています。これらはリリースでき次第、本誌、協会ホームページにも掲載いたします（今年度の視聴申し込みは12月5日まで）。

また、他団体との連携研修として日本パラスポーツ協会公認資格認定制度に基づく「中級パラスポーツ指導者養成講習会」を開催いたします。今年度は開催数を2回（東京会場、大阪会場）としましたので、本誌、協会ホームページでご確認ください。

認定取得研修 共通研修 / 選択研修は、申込者数も多いのですが、キャンセル者数もたいへん多くなっております。キャンセルをする方は、次の受講希望者への案内をスムーズに進めるためにもお早めに事務局までご連絡 (ot_moushikomi4@jaot.or.jp) をお願いいたします。

地域社会振興部

●災害シミュレーション訓練について

昨今の災害状況を鑑み、本会は都道府県作業療法士会と協力し、各地域で大規模災害が発生したという想定のもと、2018年から毎年災害シミュレーション訓練を実施しています（過去の実施状況：2018年度37士会、2019年度44士会、2020年度43士会、2021年度46士会、2022年度47士会、2023年度45士会）。

「なぜ訓練を行うのか」「なぜ安否確認が必要なのか」という

お声をいただきます。令和6年能登半島地震において、石川県士会の皆様に対して安否確認および必要な支援についてのアンケートを実施し、いただいた回答に基づいて、本会の災害対策本部は支援企画を立ち上げ、実行して参りました。つまり、シミュレーション訓練（安否確認）の目的や必要性とは、「被災地の状況を協会へ報告し、必要な支援企画を立案遂行するため」と言えます。2024年度も「作業療法の日（9月25日）」に実施します。ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。



2024年度 協会主催研修会案内

開催が決定しているもの、調整中のものを下記に記載いたします。状況により変更があることもご承知おきください。必ず、最新情報・お申込みにあたっての注意事項について協会ホームページの研修会ページ (<https://www.jaot.or.jp/kenshuukai/>) にてご確認ください。

*は新規掲載、もしくは情報が更新されたものです。

※研修会の申し込みは、2024年度会費の納入後に行っていただきますようお願いいたします。
※既にお知らせしておりますとおり、協会システムの更新に伴い研修会のお申込みができない期間がございます。予めご了承ください(詳細は協会ホームページ等でお知らせします)。



●研修会ページはこちら

認定作業療法士取得研修 共通研修		
講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。		
講座名	日程(予定を含む)	定員数
管理運営④	2024年10月26日(土)~27日(日)	調整中
管理運営⑤	2024年11月23日(土)~24日(日)	調整中
* 管理運営⑥ ※対面の可能性あり	2024年12月21日(土)~22日(日)	調整中
* 管理運営⑦ ※対面の可能性あり	2025年1月11日(土)~12日(日)	調整中
* 管理運営⑧ ※対面の可能性あり	2025年1月25日(土)~26日(日)	調整中
研究法⑤	2024年11月16日(土)~17日(日)	40名
研究法⑥	2024年12月14日(土)~15日(日)	40名
研究法⑦	2025年1月11日(土)~12日(日)	40名

認定作業療法士取得研修 選択研修		
講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。		
講座名	日程(予定を含む)	定員数
身体障害の作業療法⑥	2024年11月2日(土)~3日(日)	60名
* 身体障害の作業療法⑦ ※対面研修を予定	2024年12月14日(土)~15日(日)	40名
老年期障害の作業療法④	2025年1月18日(土)~19日(日)	60名
発達障害の作業療法②	2024年12月14日(土)~15日(日)	40名
精神障害の作業療法②	2024年12月14日(土)~15日(日)	40名

専門作業療法士取得研修		
講座名	日程(予定を含む)	定員数
基礎研修: 受講要件はありません。臨床経験や認定取得状況にかかわらず、入会後臨床1年目から受講可能です(高次脳機能障害は除く)。		
専門取得研修(福祉用具)基礎Ⅰ	2024年10月26日(土)~27日(日)	40名
専門取得研修(福祉用具)応用Ⅱ ※対面研修を予定	2024年11月30日(土)~12月1日(日)	20名
専門取得研修(精神科急性期)応用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2024年12月7日(土)~8日(日)	20名
専門取得研修(就労支援)基礎Ⅳ・Ⅵ	2024年10月5日(土)~6日(日)	40名
専門取得研修(就労支援)応用Ⅰ-1・Ⅰ-2	2024年12月14日(土)~15日(日)	調整中
専門取得研修(がん)応用Ⅱ	2024年10月19日(土)~20日(日)	40名
専門取得研修(高次脳機能障害)基礎Ⅱ	調整中	調整中
専門取得研修(高次脳機能障害)応用	調整中	調整中
専門取得研修(訪問)基礎	調整中	調整中
専門取得研修(訪問)応用	調整中	調整中
専門取得研修(摂食嚥下)応用Ⅲ	2024年11月30日(土)~12月1日(日)	20名

専門取得研修(認知症)基礎	調整中	調整中
専門取得研修(認知症)応用	調整中	調整中
専門取得研修(特別支援教育)	調整中	調整中

養成教育関連研修

講座名	日程(予定を含む)	定員数
講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。		
* 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会②	2024年12月21日(土)～12月22日(日)	調整中
厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会③	調整中	調整中
* 臨床実習指導者実践研修会①	2024年11月17日(日)	60名
* 臨床実習指導者実践研修会②	2024年12月21日(土)	60名
* 臨床実習指導者実践研修会③	2025年1月11日(土)	60名

作業療法重点課題研修

講座名	日程(予定を含む)	定員数
講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。		
教員と臨床教育者のためのMTDLP教育法②	2025年1月26日(日)	100名
国際的人材育成セミナー グローバル活動セミナー	調整中	調整中
英語で学会発表しよう！基礎編 ～抄録作成・質疑応答・多国籍コミュニケーションのポイント～	調整中	調整中
2024年度 支援機器開発人材育成研修会	調整中	調整中
* 診療報酬改定対応(急性期リハビリテーション加算)研修会(仮)	調整中	調整中

eラーニング講座

eラーニングシステムを使用します。各講座の申込期間について、詳しくは会員ポータルサイトをご確認ください。
※eラーニング講座に定員はありません。

講座名	日程(予定を含む)	申込締め切り
* 専門作業療法士(認知症)取得研修 基礎Ⅰ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(認知症)取得研修 基礎Ⅱ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(高次脳機能障害)取得研修 基礎Ⅳ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅰ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅱ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅲ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅳ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(訪問)取得研修 基礎Ⅰ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(がん)取得研修 基礎Ⅰ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(がん)取得研修 基礎Ⅱ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(特別支援教育)取得研修 基礎Ⅱ-1	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 専門作業療法士(脳血管障害)取得研修 基礎Ⅱ	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* がん・非がんの緩和ケア～作業療法実践に必要な緩和ケアの知識～	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 英語での学会発表 抄録・ポスター・スライド作成はじめて講座	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 地域ケア会議に資する人材育成研修	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 自動車運転と作業療法	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)
* 子育て・介護を担う女性作業療法士の働き方	2024年10月1日(火)～11月30日(土)	9月5日(木)

生涯教育講座案内【都道府県作業療法士会】

現職者選択研修						
講座名	日程	主催県士会	会場	参加費	定員	詳細・問い合わせ先
身体障害	2024年8月25日(日)	福島県	郡山健康科学専門学校	4,000円	50名	詳細は、各都道府県作業療法士会ホームページをご参照ください。
* 精神障害	2024年9月29日(日)	岩手県	ハイブリッド研修	4,000円	50名	
* 身体障害	2024年10月6日(日)	静岡県	ハイブリッド研修	4,000円	90名	
精神障害	2024年10月6日(日) 2024年10月13日(日)	奈良県	Web開催	4,000円	80名	
* 身体障害	2024年10月20日(日)	青森県	Web開催	4,000円	80名	
* 身体障害	2024年10月20日(日)	新潟県	Web開催	4,000円	40名	
発達障害	2024年10月27日(日)	大阪府	Web開催	4,000円	70名	
* 身体障害	2024年10月27日(日)	兵庫県	Web開催	4,000円	50名	
精神障害	2024年10月27日(日)	島根県	Web開催	4,000円	40名	
発達障害	2024年12月1日(日)	鹿児島県	ハイブリッド研修	4,000円	対面60名 リモート未定	
発達障害	2024年12月8日(日)	神奈川県	Web開催	4,000円	50名	
* 老年期	2024年12月8日(日)	岡山県	Web開催	4,000円	50名	
老年期	2024年12月14日(土)	鳥取県	Web開催	4,000円	50名	
* 身体障害	2024年12月15日(日)	山口県	Web開催	4,000円	80名	
老年期	2025年2月2日(日)	神奈川県	Web開催	4,000円	50名	

※現職者選択研修の受講には、日本作業療法士協会への入会とともに、各都道府県作業療法士会への入会も必要です。所属士会以外で受講される場合には、開催士会から所属士会へ入会状況の確認をさせていただくことがありますので、ご了承のうえ、お申込みください。

■ 詳細は、日本作業療法士協会のホームページをご覧ください。

■ 協会主催研修会の問い合わせ先 電話：03-5826-7871 FAX：03-5826-7872 E-mail：ot-kenshu@jaot.or.jp



催物・企画案内

NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会 快適な排尿をめざすセミナー

～間歌導尿指導認定セミナー初級～

日 時：2024. 9/14(土)・15(日)
会 場：AP 秋葉原
対 象：主に医師、看護師、作業療法士、理学療法士、排尿機能検査士等の医療関係者
定 員：80名
参 加 費：30,000円(認定書料含む)
お問合せ：NPO 快適な排尿をめざす全国ネットの会
tokyo.npo.seminar@gmail.com

認定 NPO 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会 令和 6 年度医療後援会・相談会

日 時：2024. 9/22(日)
会 場：品川区立総合区民会館 きゅりあん(ハイブリッド開催)
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://scdmsa.tokyo>

第 59 回 公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会 第 23 回 日本精神保険福祉士学会学術集会 テーマ：ひらくーあたらしい時代の精神保健福祉ー

日 時：2024. 9/27(金)・28(土)
会 場：アクリエひめじ
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://www.jamhsw.or.jp/taikai/2024/>

失語症全国大会 in ふくしま(第 35 回 日本失語症協 議会・第 10 回 失語症デイ振興会)

テーマ：今こそ、つどいの力～ふくしまからのエール～
日 時：2024.9/28(土)
会 場：ホテル福島グリーンパレス
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<http://www.fukushima-st.org/welcomefukushima2024/>

H.C.R.2024 第 51 回 国際福祉機器展

日 時：2024. 10/2(水)～4(金)
Web 展 2024. 9/2(月)～11/1(金)
会 場：東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://hcr.or.jp/>

2024 年度第 16 回 全国精神保健福祉家族大会 みんな なっと北海道大会

テーマ：対話を家族のものに～孤立から支援の輪の中へ
真のつながりを求めて～
日 時：2024. 10/12(土)
会 場：北海道大学学術交流会館
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://seishinhoken.jp/events/2024hokkaido>

第 25 回 日本認知症グループホーム全国大会(広島大会)

テーマ：きんさい、広島！認知症グループホームサミット～これからの「幸齢社会」を語ろう～
日 時：2024. 10/16(水)・17(木)
会 場：広島国際会議場
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://www.ghkyo.or.jp/user-rights/competition>

アクティビティインストラクター資格認定セミナー in 福岡

日 時：2024. 10/20(日)
会 場：福岡おもちゃ美術館
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://www.aptycare.com/>

認知症の人と家族への援助をすすめる 第 40 回 全国研究集会 in 和歌山

テーマ：集い、繋がる～私たちの未来にむけて～
日 時：2024. 10/20(日)
会 場：和歌山城ホール 大ホール(ハイブリッド開催)
参 加 費：参集 2,000円 学生 1,000円 オンライン 1,000円
認知症ケア専門士単位取得(参集、オンラインともに) 2,000円
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://www.alzheimer.or.jp/>

一般社団法人全国ノーリフティング推進協会 第 10 回 全国大会

日 時：2024. 11/6(水)
会 場：ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://nolifting-suishin.com/>

「催物・企画案内」の申込先 kikanshi@jaot.or.jp

掲載の可、不可についてはご連絡致しませんことをご理解ください。また、2号以上の掲載はお引き受けいたしかねます。なお、原稿によっては割愛させていただく場合がございますので、ご了承ください。

日本作業療法士連盟だより

連盟ホームページ▶<http://www.ot-renmei.jp/>



徳島県作業療法士連盟設立しました

徳島県作業療法士連盟会長 上田 裕久



今年で日本作業療法士連盟徳島県責任者を拝命して9年が過ぎ、節目の10年を迎えました。これにあたり、本年5月にさらなる作業療法の発展や関連制度の改善を図り、国民や会員のためになる活動を積極的に行うべく、徳島県作業療法士連盟を立ち上げました。全国で14番目であり、四国4県では初めての連盟設立となります。

徳島県作業療法士連盟では、日本作業療法士協会も推奨している「クオータ制」をいち早く導入し、連盟の役員には6割以上の女性を登用しました。登用の際には、連盟の政治活動に女性ならではの新しい価値観や視点での取り組み、女性の社会進出を促進するだけでなく、組織の成長やイノベーションにも寄与する想いがある方を選任いたしました。

今年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年でした。報酬改定に際し、連盟や協会、法制度の改革を進める関連団体などで尽力された皆様には感謝申し上げます。新年度から皆様

が勤務している職場も、プラス報酬となった分野もあれば、マイナス報酬や、より複雑・煩雑になってしまった分野もあるかと思います。国も団塊世代が75歳以上になる2025年以降を見据え、早い段階からリハビリテーションを実施することの重要性や、リハビリテーション職の賃上げにも理解を示しておられますが、不十分であると感じている作業療法士の方も多いのではないのでしょうか？

昨年も連盟だよりに執筆させていただきましたが、作業療法士の社会的処遇の向上を図るには、公衆の信頼を裏付けるために、多様な活動や、会員一人ひとりのプロフェッショナリズムを向上させ、質の高い作業療法を提供することが必要です。そして、一人でも多くの作業療法士が連盟活動を支援し、組織強化と財政基盤の強化が必要であります。

作業療法の発展、明るい未来のために、連盟活動に理解を示しご支援いただきますようお願い申し上げます。

医療福祉eチャンネルで、見て学ぶ作業療法



一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 山本 伸一

1講座1.5時間の単位認定番組

※日本作業療法士協会会員ポータルサイトに反映

- 現職者共通研修 [8番組]
- 生活行為向上マネジメント [基礎編]

医療福祉eチャンネル(<https://www.ch774.com/>)での単位認定には「履修登録」「受講管理料」が必要となります。詳しくは「日本作業療法士協会の皆さまへ」をご覧ください。



燃えよ、作業療法士！～日本の明日の作業療法を革新する～

好評配信中

作業療法士の支援力が求められる中、各地域の課題や、それらの解決に関わる取組を学びます。(全15回)

第6回「急性期病院作業療法における院内活動表の開発」

講師：白砂 寛基氏 (国際医療福祉大学成田病院 リハビリテーション室 副部長)

作業療法士募集

○施設概要

当病院は、全病床数が 144 床で、急性期病床 70 床、回復期リハビリテーション病棟 48 床、地域包括ケア病床 26 床を運用しています。

作業療法の業務は、入院、外来、訪問看護ステーション（訪問リハビリあり）となっており、在籍者数は PT26 名、OT13 名、ST4 名 助手 2 名です。

※当病院は魚沼産コシヒカリの産地であり、自然に恵まれ、交通アクセスに優れ、冬にはウィンタースポーツが盛んな地域にありますので、ぜひ見学にいらしてください。ご連絡をお待ちしています。

○募集人員：正職員 4 名

○応募資格：作業療法士有資格者および資格取得見込み者

○勤務時間：月曜日～金曜日：

8 時 30 分から 17 時 15 分まで

土曜日：8 時 30 分から 12 時 30 分まで

※交代による休日・時差出勤あり

○休日：日曜日（4 週 8 休）、祝日、第 3 月曜日、

創立記念日（11/1）、年末年始

○待遇：共済組合（健康保険、共済年金、厚生事業）、

地方公務員災害補償、保育施設

○応募方法：南魚沼市民病院ウェブサイトを参照ください。



南魚沼市民病院

〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 2643 番地 1

Tel: 025-788-1222

FAX: 025-788-1231 担当：庶務課 井口

求人広告のお申込と出稿の方法

◆求人広告掲載のお申込は協会事務局まで

施設名、ご担当者名、住所、電話番号、Eメールアドレス、希望の作成パターン（A・Bよりお選びください）を記載のうえ、Eメールにて協会事務局 [kikanshi@jaot.or.jp] までお申し込みください。希望掲載号発行月の前々月末が申込締切となります。

A. 基本デザイン作成パターン

（費用＝版下作製費 0 円＋広告掲載料 13,000 円）

①～③の基本フォームからお好きなデザインを選択していただき、掲載情報のみご提供いただけます。文字内容の変更は受け付けますが、デザインの変更はできません。

① **作業療法士募集**

有資格者募集 募集人員: 4 名

※ 募集要項: 年齢: 20 歳以上 30 歳以下
性別: 男性 女性 不問
学歴: 大学卒業以上
資格: 作業療法士有資格者 (経験 5 年以上)
勤務時間: 月 8 時 30 分～17 時 15 分 (夜間勤務あり)
休日: 日曜日・祝日・第 3 月曜日・創立記念日 (11/1)
待遇: 共済組合 (健康保険、共済年金、厚生事業)、地方公務員災害補償、保育施設
応募方法: 南魚沼市民病院ウェブサイト

② **作業療法士募集**

施設名: エリア
その他情報をご記入ください

○ 募集人員: 募集人数
○ 応募資格: 作業療法士有資格者 (経験 5 年以上)
○ 勤務時間: 月 8 時 30 分～17 時 15 分 (夜間勤務あり)
○ 休日: 日曜日・祝日・第 3 月曜日・創立記念日 (11/1)
○ 待遇: 共済組合 (健康保険、共済年金、厚生事業)、地方公務員災害補償、保育施設
○ 応募方法: 南魚沼市民病院ウェブサイト

③ **新規事業所開設につき増員します**

■ 募集要項: (職種名: 作業療法士) 経験 5 年以上
■ 募集人数: 3 名
■ 募集要項: (職種名: 理学療法士) 経験 5 年以上
■ 募集人数: 2 名
■ 募集要項: (職種名: 言語聴覚士) 経験 5 年以上
■ 募集人数: 1 名
■ 募集要項: (職種名: 作業療法士) 経験 5 年以上
■ 募集人数: 1 名
■ 募集要項: (職種名: 作業療法士) 経験 5 年以上

B. オリジナル版下支給パターン

（費用＝版下作製費 0 円＋広告掲載料 13,000 円）

指定する要領（幅 82mm×高さ 122mm）で完全版下をご提供いただいた場合も、版下作製費は発生いたしません。

※複数月掲載の際、デザイン変更を希望され、作業が発生した場合は別途版下代をいただく場合がありますのでご注意ください。また、オリジナルデザインでの版下作製も受け付けておりますので、ご相談ください。

訃報連絡

長年にわたり本会会員として尽力されてきたご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

会員番号 3028

鎌田 正司（岡山県）

お詫びと訂正

本誌第 146 号（2024 年 5 月 15 日発行）p.14-15 に掲載された「2024 年度第 1 回定例理事会抄録」のうち、陪席者の肩書きに誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに次の通り訂正させていただきます。

頁	誤	正
p.14	大場（総会副議長）	大場（理事会推薦総会副議長候補者）

本誌について重要なお知らせ

第 150 号・第 154 号は 電子書籍として発行いたします

2023 年度第 7 回定例理事会（2023 年 2 月 17 日開催）におきまして、2024 年 9 月 15 日発行予定の第 150 号（9 月号）、2025 年 1 月 15 日発行予定の第 154 号（1 月号）は電子書籍版のみの発行とし、会員の皆様に配信することが承認されました。

「会員全員に向けて協会の情報を確実に配信する」「賛助会員、関連団体・関連省庁に本会の情報をお伝えする」という本誌の責務から冊子体の発行を継続してまいりました。一方で、時代の趨勢として電子書籍の利用が一般的となり、かねてより「機関誌を電子書籍化してほしい」といったご意見も多数いただいております。

そこで、今年度は第 150 号と第 154 号の 2 冊を電子書籍版のみの発行とすることで、今後の完全電子化に向けての試験的な試みといたします（なお、賛助会員、関連団体・関連省庁への配布は冊子体にて行います）。

これまでの PDF 版とは異なり、ページをめくる閲覧形式を取り、簡易的な本文検索機能などを付与する予定です。また、特に強調したい記事については、別途 Web ページを設けてモバイルデバイスでも読みやすくいたします。

電子書籍の可読性、特にモバイルデバイスでの読みやすさについては、なお多くの課題がございます。まずは今年度行う 2 号の電子書籍版をご覧ください、可読性や機能等について会員の皆様の忌憚ないご意見を賜れますと幸いです。

会員の皆様のご理解のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

●機関誌についてのご意見をぜひお寄せください

制作広報室 機関誌担当 kikanshi@jaot.or.jp

編 集 後 記

この号が皆さんのお手元に届くのは、8月の半ば。きっとまだまだ暑い日が続いていることでしょう。日本の平均気温は長期的には100年あたり1.35℃の割合で上昇、特に1990年代以降は高温となる年が頻出し、極端な大雨も1970年代後半以降に比べて頻度が約2倍に増加していると気象庁が報告しています。数字で見るとは無く、酷暑も豪雨もとても身近で、もはや気候変動ではなく気候危機なのだと思身をもって感じています。

気候変動は自然環境や人びとの生活に大きな影響を与えますが、真っ先にそのリスクにさらされるのは社会的弱者とされる人びとです。つい先日、7月25日には国連事務総長が世界各地の記録的な猛暑について「地球はますます暑くなり、危険になっている」と警告し、社会的な弱者や労働者の保護等が必要だとして、世界が結束して行動するよう訴えました。新たな脅威により、新たな生活の困難とそれへの対策も生じることでしょう。作業療法の変化を観察する視点のひとつに、気候変動も入る時代になっているのだと思います。

(遠藤)

本誌に関するご意見、お問い合わせがございましたら下記までご連絡ください。
E-mail kikanshi@jaot.or.jp

■ 2023年度の確定組織率

53.7% (会員数 61,015 名 / 有資格者数 113,649 名^{*})

^{*} 2024年度は会員数がまだ確定していないため組織率の算定ができません。当協会の最新の組織率としては、理事会の承認を得て確定した2023年度の会員数に基づくこの数値をご利用ください。

■ 2024年7月1日現在の作業療法士

有資格者数 118,471 名^{*}

会員数 61,965 名

社員数 257 名

認定作業療法士数 1,619 名

専門作業療法士数 (延べ人数) 162 名

■ 2024年度の養成校数等

養成校数 204 校 (207 課程)

入学定員 7,625 名

^{*} 有資格者数の数値は、過去の国家試験合格者数を単純に累計した数に、本会が把握し得た限りでの外国で取得した免許から日本国免許へ切り換えた者に加え、2023年度までの死亡退会者数(296名)を除いた数として示していますが、免許証の未登録、取り消し、本会が把握し得ない死亡その他の理由による消除の結果生じた減数分は算入されていません。

日本作業療法士協会誌 (毎月1回発行)

第149号 2024年8月15日発行

□ 発行人：山本 伸一

□ 制作広報室

室長：東 祐二

担当：宮井 恵次、遠藤 千冬、岩花 京太郎、大胡 陽子

□ 制作・印刷：株式会社サンワ

□ 発行 一般社団法人 日本作業療法士協会

〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル

TEL.03-5826-7871 FAX.03-5826-7872

E-mail kikanshi@jaot.or.jp 協会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/>

□ 求人広告：1/4 頁 1万3千円 (賛助会員は割引あり)



● 協会ホームページに
機関誌の電子版を掲載しています



自分が並べた商品を買ってくれる人がいる。

自分の考えや感情がまとまらず、緊張するほど何もできなくなってしまう。そんな精神障害のある20代の彼女が、スーパーで働き始めてから一ヶ月。最初は週一回でもつかれて大変そうでしたが、作業療法士が、彼女にとってつらくならない仕事のやり方を一緒に考えたり、まわりの人とのコミュニケーションを手伝っていくうちに、少しずつできることが増えてきています。

並べた野菜を買ってくださるお客さんを見るのが嬉しいと、最近はお調子がよさそう。

「うまくできるようになったね。」

「なんだか、いい顔になってるね。」

一緒に働く人たちからも売り場の一員として認められてきて、それにも自信につながっているようです。

なかなか難しかったお客さんとの会話にも挑戦中。

「今日のおすすりは？」

「白菜がおいしいですよ！」

共に働く社会を支える、
作業療法の就労支援。





2024年8月15日発行 第149号